

記者発表（資料配布）				
月 日 (曜日)	担当課名	TEL	発表者名 (担当係長名)	その他の 配布先
4月11日 (月) 14:00	関西広域連合広域防災局 広域企画課(兵庫県) (企画県民部防災企画局防 災計画課広域企画室)	078-362-9818 内線：3131	課長 石田勝則 (課長補佐小堀一幸)	関西広域連合 構成府県

平成23年東日本大震災における関西広域連合構成府県の  
被災地支援にかかる各府県の記者発表資料について  
(対象：4月8日(金) 0:00 から 4月10日(日) 24:00)

標記のことについて、別添のとおりお知らせします。

## 【関西広域連合（兵庫県）】

< 4月8日分 >

### ○ 第2回兵庫県ボランティアの繰り上げ帰神について

ひょうごボランタリープラザでは、公募で参加いただいたボランティアの方（69名）を宮城県に派遣し、同行している県立舞子高校環境防災科の引率教員・生徒（計20名）とともに、石巻市内で学校再開のための支援活動（教室等の清掃、泥出し等）行っていましたが、昨日震度6強の地震が発生したことにより、急遽当初の予定を繰り上げ、本日8時に宮城県を出発しました。

参加しているボランティアの方、同行スタッフ及び県立舞子高校の教員・生徒は全員無事です。

#### 記

- 1 当初派遣期間 平成23年4月6日(水)～9日(土)  
※当初予定では、7日・8日の両日活動し、8日の16時30分に現地出発
- 2 帰神時間・場所 4月8日20～21時の間（道路事情による）、神戸クリスタルタワー前  
※県立舞子高校の教員・生徒については直接学校に戻る予定
- 3 問い合わせ ひょうごボランタリープラザ TEL 078-360-8845

○ 東日本大震災の被災者に対する兵庫県営住宅の提供等の状況（4/8現在）について

平成23年4月8日17時30分現在の標記の状況は、下記のとおりです。

記

1 提供する県営住宅

1,200戸（うち、すぐ入居可能な住戸100戸）

※ 3月26日から、提供する県営住宅の数を600戸から1,200戸に増加

2 提供等の状況

日付	受付件数	入居決定戸数		入居辞退 戸数	提供可能 戸数
			鍵渡し 戸数		
3/17	82	-	(-)	-	600
3/18	62	24	(2)	0	576
3/19～21	19	0	(0)	0	576
3/22	20	15	(11)	5	566
3/23	6	4	(3)	3	565
3/24	7	3	(2)	2	564
3/25	2	2	(3)	0	562
3/26～27	1	0	(0)	0	1,162
3/28	3	2	(1)	0	1,160
3/29	3	2	(2)	0	1,158
3/30	2	0	(2)	0	1,158
3/31	2	1	(1)	0	1,157
4/1	4	2	(0)	0	1,155
4/2～3	3	0	(0)	0	1,155
4/4	4	0	(1)	2	1,157
4/5	0	0	(1)	0	1,157
4/6	4	2	(1)	1	1,156
4/7	1	0	(1)	0	1,156
4/8	1	0	(0)	2	1,158
合計	226	57	(31)	15	1,158

○ 東日本大震災に係る被災地からの避難者受入状況（4/8 現在）について

標記については、現段階で把握しているのは、少なくとも134世帯446名ですの  
でお知らせします。

記

被災地から兵庫県内への避難者受入状況

（4月8日17時30分現在）

市町等名	受入場所	被災地住民の避難者数	
		世帯数	人数
兵庫県	兵庫県営住宅	31 世帯	118 名
神戸市	市営住宅	82 世帯	271 名
明石市	市営住宅	2 世帯	7 名
西宮市	市営住宅	8 世帯	20 名
宝塚市	市営住宅	5 世帯	11 名
高砂市	市営住宅	1 世帯	5 名
三田市	市営住宅	2 世帯	4 名
養父市	市営住宅	1 世帯	1 名
丹波市	市営住宅	2 世帯	9 名
合 計		134 世帯	446 人

- 4/7に配布した「東日本大震災に係る被災地からの避難者受入状況（4/7現在）について」の被災県別内訳についてまとめましたのでお知らせします。（4/8 18:15）

問い合わせ先：兵庫県災害対策課防災係 078-362-9988(直通) 内線3140

被災地から兵庫県内への避難者受入状況

4月7日17時30分現在

(参考)

兵庫県 (県営住宅)	現在入居数		入居実績(累計)						現在までに 退去した人	
			～4月6日		4月7日		合計			
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数		
兵庫県	31世帯	118名	30世帯	113名	1世帯	5名	31世帯	118名	世帯	名
福島県	16世帯	73名	16世帯	73名	世帯	名	16世帯	73名	世帯	世帯
宮城県	9世帯	24名	9世帯	24名	世帯	名	9世帯	24名	世帯	世帯
茨城県	5世帯	16名	4世帯	11名	1世帯	5名	5世帯	16名	世帯	世帯
山形県	1世帯	5名	1世帯	5名	世帯	名	1世帯	5名	世帯	世帯

市町名 (市営住宅)	現在入居数		入居実績(累計)						現在までに 退去した人	
			～4月6日		4月7日		合計			
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数		
神戸市 ※	82世帯	271名	91世帯	310名	3世帯	10名	94世帯	320名	12世帯	49名
福島県	58世帯	205名	64世帯	230名	2世帯	8名	66世帯	238名	8世帯	33名
宮城県	12世帯	33名	13世帯	38名			13世帯	38名	1世帯	5名
岩手県	5世帯	9名	4世帯	7名	1世帯	2名	5世帯	9名	世帯	名
茨城県	5世帯	16名	6世帯	20名			6世帯	20名	1世帯	4名
東京都	1世帯	4名	2世帯	7名			2世帯	7名	1世帯	3名
千葉県	世帯	名	1世帯	4名			1世帯	4名	1世帯	4名
栃木県	1世帯	4名	1世帯	4名			1世帯	4名	世帯	名
明石市	2世帯	7名	2世帯	7名	世帯	名	2世帯	7名	世帯	名
福島県	2世帯	7名	2世帯	7名			2世帯	7名	世帯	名
西宮市	8世帯	20名	8世帯	20名	世帯	名	8世帯	20名	世帯	名
福島県	5世帯	12名	5世帯	12名			5世帯	12名	世帯	名
宮城県	2世帯	5名	2世帯	5名			2世帯	5名	世帯	名
茨城県	1世帯	3名	1世帯	3名			1世帯	3名	世帯	名
宝塚市	5世帯	11名	5世帯	11名	世帯	名	5世帯	11名	世帯	名
福島県	4世帯	8名	4世帯	8名			4世帯	8名	世帯	名
茨城県	1世帯	3名	1世帯	3名			1世帯	3名	世帯	名
高砂市	1世帯	5名	1世帯	5名	世帯	名	1世帯	5名	世帯	名
福島県	1世帯	5名	1世帯	5名			1世帯	5名	世帯	名
三田市 ※	2世帯	4名	4世帯	12名	世帯	名	4世帯	12名	2世帯	8名
福島県	世帯	名	2世帯	8名			2世帯	8名	2世帯	8名
岩手県	1世帯	2名	1世帯	2名			1世帯	2名	世帯	名
茨城県	1世帯	2名	1世帯	2名			1世帯	2名	世帯	名
養父市	1世帯	1名	1世帯	1名	世帯	名	1世帯	1名	世帯	名
岩手県	1世帯	1名	1世帯	1名	世帯	名	1世帯	1名	世帯	名
丹波市	2世帯	9名	2世帯	9名	世帯	名	2世帯	9名	世帯	名
宮城県	2世帯	9名	2世帯	9名			2世帯	9名	世帯	名
合計	103世帯	328名	114世帯	375名	3世帯	10名	117世帯	385名	14世帯	57名

※ 4/7の発表後に神戸市の集計において退去者(2世帯7名)、三田市においても退去者(2世帯8名)がいることがわかったため、総数が変更されています。

県+市町計	134世帯	446名	144世帯	488名	4世帯	15名	148世帯	503名	14世帯	57名
-------	-------	------	-------	------	-----	-----	-------	------	------	-----

## 【関西広域連合（滋賀県）】

< 4月8日分 >

### ○ 東北地方太平洋沖地震への対応について（第30報）

このことについて、現在の情報を提供します。

◎主な動きについて

- ・4/8 大津市民病院が福島県会津若松市内および周辺市町の各避難所に支援
- ・4/8 避難所支援派遣職員 第7陣 15名出発

#### 1. 避難者の受入

(1) 避難者の受入状況（4月8日現在）

受け入れ可能施設		避難の 相談件 数	受け入れ実績		退所状況		現在の受け入れ状 況	
施設数	可能人 数		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
381	4,200	386	52	180	23	93	29	87

(2) 避難者の入居状況（4月7日現在）

施設	提供戸数	入居戸数
県営住宅	34戸	1戸
市町営住宅等(参 考)	87戸	21戸
合 計	121戸	22戸

#### 2. 人員等の派遣

(1) 関西広域連合現地連絡所職員の派遣（要望等情報収集および連絡調整）

3/14～ 会津若松現地連絡所および福島現地連絡所を開設

4/8時点 福島県災害対策本部 3名、 会津若松合同庁舎 2名

計5名

累計 14隊30名

(2) 避難所支援職員の派遣（避難所の運営支援、被災者の滋賀県受入案内等）

3/22～ 福島市内の各避難所

第1陣：あづま総合運動公園等6ヶ所（第2陣以降4ヶ所）

4/8 時点 第7陣：

避難所名	避難者数	派遣職員数(15名)
あづま総合運動公園	1000人	9名
自治研修センター	200人	2人
福島商業高校	79人	2人
福島東高校	111人	2人

累計 7隊 106名

(3) 滋賀県緊急消防援助隊の派遣（救急搬送等を実施）

①陸上部隊

3/11～4/1 福島県新地町、南相馬市、二本松市等で活動

4/8 時点 活動終了

累計 197隊 696名

②航空部隊

3/12～28 福島空港を拠点に上空偵察、救助活動、救急搬送を実施

4/8 時点 活動終了

累計 6隊 32名

(4) 災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣

3/11～15 花巻、仙台、石巻、福島、つくば等搬送拠点で活動

4/8 時点 活動終了

累計 11チーム 62名

(5) 医療救護班の派遣（被災地の救護所における医療救護活動）

①医療救護班

3/17～ 会津若松市内および周辺市町で活動

4/8～ 大津市立病院が福島県会津若松市内および周辺市町の各避難所に支援

4/8 時点

1チーム 4名

累計 9チーム 45名

②医療救護班現地調整員（県職員）

3/19～ 現地調整員

4/8 時点

1名

累計 9名

(6) 給水車の派遣（企業庁）

3/14～23 岩手県大船渡市 給水車（2t）、作業員2名（数日毎に交代）

4/8 時点 活動終了

累計 1台 5名

(7) 保健師等派遣（健康相談や心のケア、衛生面の支援活動等）

3/15～ 仙台市内、福島市内、小野町の避難所で活動

4/3～ 福島県小野町、石川町、田村市で支援

4/8 時点 福島県小野町、石川町、田村市で支援

1チーム 5名

累計 8チーム 33名

(8) し尿処理支援

3/20～26 宮城県大崎市（山形県酒田市のし尿処理プラントに搬送）

4/8時点 活動終了

累計 支援車 1台 3名

(9) 管路調査要員の派遣

3/27～4/3 宮城県東松島市、多賀城市内で土木技術職員による管路施設の一次調査を実施

4/8時点 活動終了

累計 1班 県 1名・市町 3名

(10) 心のケアチームの派遣（心身の不調をきたした避難住民に対して心の健康相談や治療など）

4/1～ 福島市、伊達市、二本松市等で活動

4/8時点

1チーム 5名

累計 2チーム 10名

(11) 医師会からの医師派遣

4/2～ 会津若松市内および周辺市町、福島県西郷村

4/8時点 福島県西郷村 医師 1名、その他 1名

累計 8名

3. 物資の提供および搬送

(1) 県備蓄物資の送付

3/14・3/19 毛布 9,300 枚、乾パン 56,192 食、アルファ化米 11,100 食、サバイバルフーズ、7,680 食（協力団体：滋賀県トラック協会）

3/19 医療用医薬品等：内服薬 66 品目約 23,000 個、注射薬 6 品目 100 本、衛生基材（血圧計、体温計等）53 品目（協力団体：滋賀県トラック協会）

4/5 鳥インフルエンザ対策のため県が備蓄している化学防護服 1,000 着（支援職員派遣のバスを利用し送付）

(2) 陸上自衛隊等による救援物資の搬送

3/17～ 市町および民間団体からの救援物資受付

4/8時点 申込み 58 件、うち輸送(予定含む) 45 件

4. その他県内団体等からの支援

(1) 社団法人滋賀県薬剤師会から薬剤師ボランティアの派遣

3/19～4/4 福島県（福島市、郡山市、田村市）、宮城県（石巻市、南三陸町）に 9 名(累計)派遣

- (2) 社団法人滋賀県看護協会から災害支援ナースの派遣  
3/24～4/1 宮城県内に看護師 6 名（累計）派遣  
3/31～4/4 岩手県内に看護師 2 名（累計）派遣
  
- (3) 滋賀県環境事業協同組合からし尿処理収集車両等の派遣  
3/20～26 し尿収集車両等 20 台、作業員 31 名派遣
  
- (4) 社団法人滋賀県薬業協会・滋賀県製薬工業協同組合からの一般用医薬品等の寄附  
3/24～ 一般用医薬品等 38 品目（総合感冒薬、下剤、マスク等）約 40,200 個  
（総額 34,346 千円分）
  
- (5) アークレイ株式会社からの糖尿病血糖自己測定器の寄附  
3/30～ グルコカード G+メーター、消毒用脱脂綿等（総額 6,075 千円分）

# 避難者受け入れ状況総括

平成23年4月8日17:00現在

	受け入れ可能施設		避難に関する相談件数	受け入れ実績				受け入れ状況			
	施設数	可能人数		受け入れ実績		退所状況		現在の受け入れ状況			
				世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数		
昨日までの実績	376	4,180	385	52	180	23	93				
本日の状況	5	20	1								
合計	381	4,200	386	52	180	23	93	29		87	

## 【退所状況の内訳】

帰県	12	48
公営住宅	4	17
民間住宅	3	12
県内の他の避難所	4	16

## 災害避難者市町別受け入れ実績（避難所のみ）

平成23年4月8日17:00現在

市町名等	施設数		受け入れ実績（累計）	
	施設数	受け入れ可能人数	世帯数	人数
滋賀県	6	112	8	36
国	1	12		
個人	214	856	8	34
大津市	2	160		
彦根市	3	12		
長浜市	22	394		
草津市	5	37		
東近江市	13	651		
近江八幡市	5	42		
守山市	2	40		
栗東市	1	37		
甲賀市	2	42	4	9
野洲市	1	30	1	3
湖南市	6	135		
高島市	21	88		
米原市	17	249		
日野町	12	345	8	22
竜王町	8	213	3	7
愛荘町	20	336	4	20
豊郷町	9	190	6	21
甲良町	8	134	1	1
多賀町	3	85	9	27
合 計	381	4,200	52	180

## 【関西広域連合（京都府）】

< 4月8日分 >

### ○ 支援物資（第2次）の受付状況について

京都府災害支援対策本部  
物資等支援班 075-414-5936

4月4日（月）から4月7日（木）まで、府民の皆様から受け付けました支援物資の状況は、別紙のとおりです。

これらの支援物資につきましては、4月8日（金）から10日（日）に仕分け作業等を行い、11日（月）に福島県へ発送する予定です。

発送時間など詳細につきましては、後日お知らせいたします。

### 府民の皆様からの支援物資（第2次）の受付状況

		人数（人）	カップラーメン（食）	レトルト食品（食）	魚肉ソーセージ（本）	漬け物（パック）	味付け海苔（パック）	佃煮等の瓶詰め（瓶）
4月4日	市町村計	232	2,748	240	1,130	226	1,526	545
	京都府	17	1,660	44	570	131	68	75
	合計	249	4,408	284	1,700	357	1,594	620
4月5日	市町村計	164	1,463	123	689	63	1,189	394
	京都府	16	214	49	9	10	68	0
	合計	180	1,677	172	698	73	1,257	394
4月6日	市町村計	188	1,825	237	709	49	1,791	350
	京都府	18	208	78	100	397	63	10
	合計	206	2,033	315	809	446	1,854	360
4月7日	市町村計	218	1,774	489	505	805	2,632	330
	京都府	13	1,087	1,164	220	132	55	111
	合計	231	2,861	1,653	725	937	2,687	441
総計	市町村計	802	7,810	1,089	3,033	1,143	7,138	1,619
	京都府	64	3,169	1,335	899	670	254	196
	合計	866	10,979	2,424	3,932	1,813	7,392	1,815

## ○ 東日本大震災関連「緊急部材調達相談窓口」の設置について

平成 23 年 4 月 8 日  
京都府商工労働観光部  
ものづくり振興課小山課長  
075-414-4851  
財団法人京都産業 21  
事業推進部 市場開拓グループ  
075-315-8590

東日本大震災の影響を受けた企業を支援するため、東日本大震災関連「緊急部材調達相談窓口」を、本日から下記のとおり設置しますのでお知らせします。

### 記

#### ◇相談内容

部品や資材の入手が困難なため、生産に影響が出ている企業の相談に応じ、新たな取引先の紹介 など。

#### ◇「緊急部材調達相談窓口」設置場所

- ・財団法人京都産業 21 事業推進部  
京都市下京区中堂寺南町 134 京都産業支援センター内  
TEL：075-315-8590
- ・財団法人京都産業 21 北部支援センター  
(丹後・知恵のものづくりパーク内)  
京都府京丹後市峰山町荒山 225 番地  
TEL：0772-69-3675

○東日本大震災等に係る「支援対策総合相談窓口」の状況

1 相談件数

4月8日 13時00分 現在

	～4月7日	4月8日	計
相談件数(件)	555件	5件	560件

(京都市への相談件数は除く)

2 公的施設への入居状況

(参考)

	受入可能住宅数	現在入居住宅数	残住宅数	受入実績						現在までに退去した人	
				～4月7日		4月8日		合計		人数	世帯数
				人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数		
<b>京都市計</b>	<b>311</b>	<b>56</b>	<b>255</b>	<b>202</b>	<b>58</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>206人</b>	<b>60世帯</b>	<b>13人</b>	<b>4世帯</b>
内訳											
府営住宅	132	37	95	121	37	4	2	125人	39世帯	5人	2世帯
府職員住宅等	179	19	160	81	21	0	0	81人	21世帯	8人	2世帯
福島県	-	-	-	173	49	4	2	177人	51世帯	12人	3世帯
宮城県	-	-	-	14	6	0	0	14人	6世帯	1人	1世帯
茨城県	-	-	-	15	3	0	0	15人	3世帯	0人	0世帯
<b>市町村計</b>	<b>281</b>	<b>64</b>	<b>217</b>	<b>275</b>	<b>70</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>279人</b>	<b>71世帯</b>	<b>36人</b>	<b>7世帯</b>
<b>京都市</b>	<b>200</b>	<b>63</b>	<b>137</b>	<b>271</b>	<b>69</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>275人</b>	<b>70世帯</b>	<b>36人</b>	<b>7世帯</b>
内訳											
福島県	-	-	-	198	47	0	0	198人	47世帯	23人	3世帯
宮城県	-	-	-	69	20	0	0	69人	20世帯	13人	4世帯
岩手県	-	-	-	3	1	0	0	3人	1世帯	0人	0世帯
茨城県等	-	-	-	1	1	4	1	5人	2世帯	0人	0世帯
<b>京都市以外</b>	<b>81</b>	<b>1</b>	<b>80</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4人</b>	<b>1世帯</b>	<b>0人</b>	<b>0世帯</b>
内訳											
福島県	-	-	-	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯
<b>府+市町村計</b>	<b>592</b>	<b>120</b>	<b>472</b>	<b>477</b>	<b>128</b>	<b>8</b>	<b>3</b>	<b>485人</b>	<b>131世帯</b>	<b>49人</b>	<b>11世帯</b>

(参考)

UR 都市機構	170	2	168	10	2	0	0	10人	2世帯	0人	0世帯
国家公務員宿舎	24	0	24	0	0	0	0	0人	0世帯	0人	0世帯
民間施設等(京都市受入)	-	3	-	2	2	1	1	3人	3世帯	0人	0世帯
民間施設等(京都市以外受入)	-	1	-	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯
<b>総合計</b>	<b>786</b>	<b>126</b>	<b>664</b>	<b>493</b>	<b>133</b>	<b>9</b>	<b>4</b>	<b>502人</b>	<b>137世帯</b>	<b>49人</b>	<b>11世帯</b>

3 民間住宅提供申出件数・戸数(電話受付)

区分	件	戸・室	件	戸・室	件	戸・室
京都市内	78	160	2	2	80	162
乙訓・南丹地域	52	63	1	1	53	64
山城地域	61	69	0	0	61	69
中丹・丹後地域	62	93	0	0	62	93
計	253	385	3	3	256	388

(京都市受付分を除く)

【問い合わせ先】  
 京都府災害支援対策本部(支援対策総合相談窓口)  
 TEL:075-414-5930  
 (府営住宅) 京都府建設交通部住宅課  
 TEL:075-414-5366

< 4月9日分 >

○ 京都シャトルバスの運行について

平成23年4月9日  
京都府災害支援対策本部  
TEL : 075-414-5926

1 出発日時

平成23年4月11日（月）9：45  
大型バス1台で府庁2号館前を出発予定

2 シャトルバス乗車予定者

4名

3 職員の派遣

①派遣先 福島県内の避難所等 6箇所

②期 間 平成23年4月11日（月）～4月17日（日）

③派遣者 ・支援業務従事要員：15名（うち新規採用職員3名）  
・現地連絡要員：1名（交代）  
・ボランティアコーディネーター：1名

4 京の手みやげ

八ツ橋（菓子）（京都商工会議所提供）等

参考：シャトルバスの予定（当面）

福島→京都 4月12日（火）、4月17日（日）、4月22日（金）  
4月27日（水）  
京都→福島 4月16日（土）、4月21日（木）、4月26日（火）

担当：人的支援班  
TEL：075-414-5937

## 東日本大震災等に係る「支援対策総合相談窓口」の状況

### 1 相談件数

4月9日 13時00分 現在

	～4月8日	4月9日	計
相談件数(件)	560件	3件	563件

(京都市への相談件数は除く)

### 2 公的施設への入居状況

(参考)

	受入可能住宅数	現在入居住宅数	残住宅数	受入実績						現在までに退去した人	
				～4月8日		4月9日		合計		人数	世帯数
				人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数		
<b>京都府計</b>	311	56	255	206	60	0	0	206人	60世帯	13人	4世帯
内訳											
府営住宅	132	37	95	125	39	0	0	125人	39世帯	5人	2世帯
府職員住宅等	179	19	160	81	21	0	0	81人	21世帯	8人	2世帯
福島県	-	-	-	177	51	0	0	177人	51世帯	12人	3世帯
宮城県	-	-	-	14	6	0	0	14人	6世帯	1人	1世帯
茨城県	-	-	-	15	3	0	0	15人	3世帯	0人	0世帯
<b>市町村計</b>	281	64	217	279	71	0	0	279人	71世帯	36人	7世帯
<b>京都市</b>	200	63	137	275	70	0	0	275人	70世帯	36人	7世帯
内訳											
福島県	-	-	-	198	47	0	0	198人	47世帯	23人	3世帯
宮城県	-	-	-	69	20	0	0	69人	20世帯	13人	4世帯
岩手県	-	-	-	3	1	0	0	3人	1世帯	0人	0世帯
茨城県等	-	-	-	5	2	0	0	5人	2世帯	0人	0世帯
<b>京都市以外</b>	81	1	80	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯
内訳											
福島県	-	-	-	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯
<b>府+市町村計</b>	592	120	472	485	131	0	0	485人	131世帯	49人	11世帯

(参考)

UR都市機構	170	2	168	10	2	0	0	10人	2世帯	0人	0世帯
国家公務員宿舎	24	0	24	0	0	0	0	0人	0世帯	0人	0世帯
民間施設等(京都市受入)	-	3	-	3	3	0	0	3人	3世帯	0人	0世帯
民間施設等(京都市以外受入)	-	1	-	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯
<b>総合計</b>	786	126	664	502	137	0	0	502人	137世帯	49人	11世帯

### 3 民間住宅提供申出件数・戸数(電話受付)

区分	件	戸・室	件	戸・室	件	戸・室
京都市内	80	162	0	0	80	162
乙訓・南丹地域	53	64	1	1	54	65
山城地域	61	69	0	0	61	69
中丹・丹後地域	62	93	0	0	62	93
計	256	388	1	1	257	389

(京都市受付分を除く)

【問い合わせ先】

京都府災害支援対策本部(支援対策総合相談窓口)  
 TEL:075-414-5930  
 (府営住宅) 京都府建設交通部住宅課  
 TEL:075-414-5366

< 4月10日分 >

平成23年4月10日  
 関西広域連合広域防災局(京都府)  
 (京都府災害支援対策本部)

東日本大震災等に係る「支援対策総合相談窓口」の状況

1 相談件数

4月10日 13時00分 現在

	～4月9日	4月10日	計
相談件数(件)	563件	2件	565件

(京都市への相談件数は除く)

2 公的施設への入居状況

(参考)

	受入可能住宅数	現在入居住宅数	残住宅数	受入実績						現在までに退去した人		
				～4月9日		4月10日		合計		人数	世帯数	
				人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数			
<b>京都府計</b>	<b>311</b>	<b>57</b>	<b>254</b>	<b>206</b>	<b>60</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>207人</b>	<b>61世帯</b>	<b>13人</b>	<b>4世帯</b>	
内訳	府営住宅	132	37	95	125	39	0	0	125人	39世帯	5人	2世帯
	府職員住宅等	179	20	159	81	21	1	1	82人	22世帯	8人	2世帯
	福島県	-	-	-	177	51	1	1	178人	52世帯	12人	3世帯
	宮城県	-	-	-	14	6	0	0	14人	6世帯	1人	1世帯
	茨城県	-	-	-	15	3	0	0	15人	3世帯	0人	0世帯
<b>市町村計</b>	<b>281</b>	<b>64</b>	<b>217</b>	<b>279</b>	<b>71</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>279人</b>	<b>71世帯</b>	<b>36人</b>	<b>7世帯</b>	
内訳	京都市	200	63	137	275	70	0	0	275人	70世帯	36人	7世帯
	福島県	-	-	-	198	47	0	0	198人	47世帯	23人	3世帯
	宮城県	-	-	-	69	20	0	0	69人	20世帯	13人	4世帯
	岩手県	-	-	-	3	1	0	0	3人	1世帯	0人	0世帯
	茨城県等	-	-	-	5	2	0	0	5人	2世帯	0人	0世帯
京都市以外	81	1	80	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯	
内訳	福島県	-	-	-	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯
<b>府+市町村計</b>	<b>592</b>	<b>121</b>	<b>471</b>	<b>485</b>	<b>131</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>486人</b>	<b>132世帯</b>	<b>49人</b>	<b>11世帯</b>	

(参考)

UR都市機構	170	2	168	10	2	0	0	10人	2世帯	0人	0世帯
国家公務員宿舎	24	0	24	0	0	0	0	0人	0世帯	0人	0世帯
民間施設等(京都市受入)	-	3	-	3	3	0	0	3人	3世帯	0人	0世帯
民間施設等(京都市以外受入)	-	1	-	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯
<b>総合計</b>	<b>786</b>	<b>127</b>	<b>663</b>	<b>502</b>	<b>137</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>503人</b>	<b>138世帯</b>	<b>49人</b>	<b>11世帯</b>

3 民間住宅提供申出件数・戸数(電話受付)

区分	件	戸・室	件	戸・室	件	戸・室
京都市内	80	162	0	0	80	162
乙訓・南丹地域	54	65	0	0	54	65
山城地域	61	69	0	0	61	69
中丹・丹後地域	62	93	0	0	62	93
計	257	389	0	0	257	389

(京都市受付分を除く)

【問い合わせ先】  
 京都府災害支援対策本部(支援対策総合相談窓口)  
 TEL:075-414-5930  
 (府営住宅) 京都府建設交通部住宅課  
 TEL:075-414-5366

## 【関西広域連合（大阪府）】

< 4月8日分 >

### ○ 「東日本大震災」にかかる大阪府の支援状況等について

府の支援状況

《新着情報》

○無償提供のあった民間住宅の被災者への紹介を開始します

あわせて、咲洲庁舎26階に開設している従来の府営住宅等の受付場所を、咲洲庁舎の20階に移転し、公的住宅と民間住宅の入居相談を一元的に行います。

#### 【無償提供の民間住宅について】

■ 無償提供の民間住宅の登録件数 28市2町 114件 238戸 4月7日現在)

■ 府の支援 ・府が被災者と提供者をつなぎ、マッチングを図る。  
・使用貸借契約書案の提示等の被災者・提供者双方のリスクを回避する。

■ 使用期間 提供者が指定する期間

■ 家賃及び敷金 無料

■ 受付開始日 平成23年4月11日（月曜日）から

#### 【被災者向け住宅提供相談窓口について】

平成23年4月11日（月）から以下の場所で窓口を設置

■ 受付場所 大阪府庁咲洲庁舎20階 被災者向け住宅提供相談窓口  
(同受付場所には福祉、医療、教育などの生活相談窓口が開設されています)

■ 受付時間 開庁日の9時00分から18時00分まで

問合せ先 電話：#8001 または 06(6910)8001 「府民お問い合わせセンター」

※平成23年4月8日（金）までは、咲洲庁舎26階 大阪府住宅まちづくり部  
住宅経営室 経営管理課 受付窓口で対応

#### 【現在の状況】

- 1 大阪府の被災地支援（人的支援：府職員）
  - 2 大阪府の被災地支援（人的支援：関係機関職員）
  - 3 大阪府の被災地支援（人的支援：市町村職員）（府要請分）
  - 4 大阪府の被災地支援（物的支援：府）
  - 5 大阪府の受入れ支援
  - 6 府民の皆様へのお知らせ
- 別紙のとおり

※ 次回の報道提供は、4月11日（月）14時の予定です。

なお、状況に特段の変化があれば、随時、報道提供いたします。

1 大阪府の被災地支援（人的支援：府職員）

支援項目	現在の派遣人数	延べ派遣人数	派遣期間	派遣先	支援内容	問い合わせ先	備考
関西広域連合岩手県事務所 （大阪府・和歌山県現地支援本部）	5人	143人	3月14日～3月19日 5人 3月18日～3月21日 4人 3月25日～4月1日 4人 4月1日～ 5人	岩手県	物的・人的支援のための岩手県庁との調整やニーズ把握等	災害等支援対策本部総合調整班 (4115・4116)	3/31まで現地連絡所開設、別途、和歌山県職員も派遣
	6人	216人	3月19日～3月23日 6人（郡整） 3月20日～3月24日 6人（郡整） 3月23日～3月26日 6人（総務・議案） 3月25日～3月29日 6人（総務（統）） 3月28日～4月1日 6人（総務（統）） 4月1日～4月9日 6人（郡整） 4月4日～4月13日 6人（郡整）	岩手県内	岩手県内の支援物資集積場での物資の搬入・搬出業務	災害等支援対策本部総合調整班 (4115・4116)	
	0人	8人	3月20日～3月23日 2人（総務）	岩手県内	支援要員の搬送	災害等支援対策本部総合調整班 (4115・4116)	
行政関係	2人	46人	3月26日～3月31日 2人 3月29日～4月3日 2人 4月1日～4月6日 2人 4月4日～4月11日 2人	岩手県内 市町村	府内市町村職員が岩手県内の市町村役場で支援するため連絡調整員	災害等支援対策本部被災地支援班 (4113・4114)	別途、市町村職員を派遣（市町村職員）参照
	0人	16人	3月19日～3月25日 1人 3月22日～3月30日 1人 3月15日～3月29日 6人 3月21日～3月25日 4人 3月24日～3月28日 4人 3月27日～3月31日 4人 3月28日～4月1日 4人 3月30日～4月3日 5人 3月31日～4月4日 4人 4月2日～4月9日 4人 4月5日～4月10日 4人 4月6日～4月10日 3人 4月8日～4月12日 4人	岩手県内 宮城県内	健康対策等の現地連絡員 避難所での健康対策・衛生対策	健康医療部健康医療総務課総務企画G（7624） 健康医療部保健医療室地域保健感染症課保健所G（2523）	職種：保健師、事務等（東大阪市職員含む）
健康医療関係	7人	174人	3月21日～3月25日 4人 3月24日～3月28日 4人 3月27日～3月31日 4人 3月28日～4月1日 4人 3月30日～4月3日 5人 3月31日～4月4日 4人 4月2日～4月9日 4人 4月5日～4月10日 4人 4月6日～4月10日 3人 4月8日～4月12日 4人	岩手県内	避難所での健康対策・衛生対策	健康医療部保健医療室地域保健感染症課保健所G（2523）	職種：医師、保健師、事務等（東大阪市、高槻市職員含む）
	9人	152人	3月19日～3月23日 4人 3月21日～3月25日 3人 3月23日～3月27日 3人 3月27日～3月31日 3人 3月29日～4月2日 3人 3月31日～4月4日 3人 4月2日～4月6日 3人 4月4日～4月8日 3人 4月6日～4月10日 3人 4月8日～4月12日 3人	福島県内	避難所での健康対策・衛生対策放射線被ばく量測定及び相談等	健康医療部保健医療室地域保健感染症課保健所G（2523）	職種：放射線技師、事務、自動車運転手等（大阪市職員含む）
健康医療関係	6人	158人	3月23日～3月24日 2人 3月24日～3月28日 7人 3月27日～3月31日 7人 3月30日～4月3日 6人 4月2日～4月6日 6人 4月5日～4月9日 6人	岩手県内	避難所での被災者に対する医療救護活動	健康医療部保健医療室 医療対策課 病院事業G（2501・2502）	職種：（府立病院機構）医師、看護師（府職員）ケアワーカー、事務等
	10人	130人	3月23日～3月28日 5人 3月27日～3月31日 5人 3月30日～4月3日 5人 4月2日～4月6日 5人 4月5日～4月12日 5人	岩手県内	被災者に対するこのころのケア	健康医療部保健医療室地域保健感染症課がん対策グループ（2528）	職種：（府立病院機構）医師、看護師（府職員）ケアワーカー、事務等
健康医療関係	0人	20人	3月30日～4月2日 5人	岩手県内 前高田市	被災地でのCT検査	健康医療部保健医療室地域保健感染症課がん対策グループ（2528）	職種：（府立病院機構）放射線技師、運転手（府立成人病センター）医師、放射線技師 大塚がん予防検診センターのCT検診車は5月末日ごろまで派遣予定 庁舎管理課及び水道部との協力あり
	0人	32人	3月13日～3月16日 8人（総務・健医）	岩手県内	DMA T 隊員送迎及び物資搬送	健康医療部保健医療室 医療対策課 救急・災害医療G（4531・2537）	
住宅関係	3人	69人	3月17日～4月30日 3人（2週交代）	岩手県内	応急仮設住宅の建設応援	住宅まちづくり部 住宅まちづくり総務課 予算G（3016）	職種：建築職 要請元：国土交通省
	3人	51人	3月23日～4月30日 3人（2週交代）	岩手県内 宮城県 岩手県内	災害対策住宅（公営、民間）への入居転居に関する業務応援 市内各所で給水活動実施 応急搬送車：給水車3台、備蓄水トラック1台など	住宅まちづくり部 住宅まちづくり総務課 予算G（3016） 水道部事業管理室調整課企画調整班G（3231）	要請元：国土交通省 宮城県栗原市：3月12日～16日 岩手県内：3月17日～ 職種：土木職等 要請元：国土交通省・宮城県 栗原市、池田市、豊中市職員も派遣
上下水道関係	0人	48人	3月25日～4月1日 2人 3月27日～4月3日 2人 3月30日～4月6日 2人	宮城県 岩手県 栗原市 周辺	下水管路の調査	都市整備部 G（3955）	
計	51人	1,509人					

2 大阪府の被災地支援（人的支援：関係機関職員）

支援項目	現在の派遣人数	派遣期間	派遣先	支援内容	問い合わせ先	備考
医療援助	DMAT（災害派遣医療チーム）	0人	茨城県・岩手県・宮城県	医師、看護師等による病院支援、SCU活動（SCU＝広域搬送拠点臨時医療施設）	健康医療部 保健医療室 医療対策課 救急・災害医療G(4531・2533)	職種：医師、看護師等 要請元：厚生労働省
	仮診療所	0人	宮城県	宮城県庁前でdERU（仮設診療所）の設置、診療	日本赤十字社大阪府支部事業課(06-6943-0743)	職種：医師、看護師等
	医療救護班	9人	岩手県	陸中海岸青少年の家（山田町）での診療と巡回診療	同上	職種：医師、看護師等
	ドクターヘリ	0人	福島県・山形県等	重篤患者の施設間搬送	健康医療部 保健医療室 医療対策課 救急・災害医療G(4531・2533)	職種：医師、看護師等 要請元：厚生労働省
	医療従事者ボランティア	0人	宮城県・福島県	被災地へ医療従事者をボランティアとして派遣	健康医療部 保健医療室 医事看護課 医事G(2520・2535)	職種：医師、看護師等 要請元：厚生労働省
計	9人					

支援項目	現在の派遣人数	派遣先
大阪府警	約60人	岩手県・宮城県
	約730人	岩手県・宮城県・福島県
消防	5人	岩手県釜石市
	6人	福島県

3 大阪府の被災地支援（人的支援：市町村職員）（府要請分）

支援項目	現在の派遣人数	延べ派遣人数	派遣期間	派遣先	支援内容	問い合わせ先	備考
岩手県内の市町村支援	0人	60人日	3月26日～3月31日 10人	岩手県大槌町	総務班、食料物資班、避難所対応班、救護班、埋火葬受付班、遺体収容班の6班に分かれて、町業務に従事	災害等支援対策本部被災地支援班(4113・4114)	豊中市①、吹田市②、茨木市①、箕面市②、岸和田市②、守口市②
	0人	60人日	3月29日～4月3日 10人	同上	同上	同上	高槻市②、富田林市②、河内長野市②、太子町②、河南町①、千早赤阪村①
	0人	60人日	4月1日～4月6日 10人	同上	同上	同上	堺市②、枚方市②、松原市②、高石市②、能勢町②
	10人	50人日	4月4日～4月11日 10人	同上	同上	同上	吹田市②、大東市①、八尾市②、藤井寺市②、岸和田市①、東大阪市①、忠岡町①
	0人	60人日	3月26日～3月31日 10人	岩手県陸前高田市	総務班、食料物資班、避難所対応班、救護班、埋火葬受付班、遺体収容班の6班に分かれて、町業務に従事	災害等支援対策本部被災地支援班(4113・4114)	四條畷市①、交野市②、八尾市①、柏原市②、東大阪市①、阪南市②、島本町①
	0人	60人日	3月29日～4月3日 10人	同上	同上	同上	摂津市②、寝屋川市②、門真市②、貝塚市②、泉佐野市②
	0人	60人日	4月1日～4月6日 10人	同上	同上	同上	羽曳野市①、大阪狭山市②、泉南市①、豊能町①、熊取町②、田尻町①、岬町②
	13人	65人日	4月4日～4月11日 13人	同上	同上	同上	堺市③
	4人	48人日	3月27日～4月3日 2人 4月1日～4月8日 4人	宮城県栗原市周辺	下水道管路の調査	都市整備部 下水道事業課建設G(3955)	池田市② 豊中市④
	計	27人	523人日				

4 大阪府の被災地支援（物的支援：府）

支 援 内 容	支 援 先	問 い 合 わ せ 先	備 考
<p>3月13日：アルファ化米 30,000食            3月14日：チキンラーメン 20,000食            3月15日：チキンラーメン 15,000食            3月19日：チキンラーメン 2,166食            4月4日：即席しるこドレッシング、ペビー飲料 53個</p>	岩手県		
<p>3月23日：アルファ化米（お粥） 1,700食            乾パン・クッキー 9,336箱            シンユル 5,000個 33箱            粉ミルク（量不明） 201箱            粉ミルク（13g×10袋） 324箱</p> <p>3月24日：アルファ化米 3,800食            3月25日：乾パン・クッキー 11,400食            アルファ化米（お粥） 750食            高齢者食（お粥） 50食            パン 8,000食            粉ミルク（320g） 30箱</p>	山形県		
<p>3月13日：災害用備蓄水500ml *888本            3月14日：災害用備蓄水500ml *10,000本            3月15日：災害用備蓄水500ml *24,000本            3月17日：災害用備蓄水500ml *10,000本            3月19日：災害用飲料給水袋 1,000袋            3月20日：災害用備蓄水500ml *20,000本            3月21日：災害用備蓄水500ml *54,000本            3月22日：災害用備蓄水500ml *24,000本            3月23日：災害用備蓄水500ml *16,000本</p> <p>3月12日：災害用備蓄水500ml *4,000本            非常用飲料給水袋 4,000枚            3月14日：災害用備蓄水500ml *3,000本            非常用飲料給水袋 7,000枚</p>	岩手県	災害等支援対策本部被災地支援班(4113・4114)	
<p>3月15日：大人男性用下着 L*10箱, LL*2箱            4月1日：大人女性用下着 415枚            4月4日：子供用下着 2,000枚            女性用下着（下）Mサイズ 1,000セット            Lサイズ 1,872枚            女性用下着（下）約5,000着            男性用下着 1,470枚</p>	宮城県 栗原市		
<p>3月23日：肌着 5,529枚            作業服 560着            3月25日：肌着 100着</p>	岩手県		
<p>3月14日：毛布 3,000枚            3月15日：毛布 1,320枚            3月19日：毛布 699枚</p>	山形県		
<p>3月15日：毛布 10,000枚</p>	岩手県		
<p>3月23日：抗インフルエンザウイルス薬（タミフル・リレンザ）</p>	宮城県		
<p>3月26日：避難所用日常医薬品 200個</p>	全域		
	岩手県		別添1,000個確保済み 順次発送予定

<p>その他の物品</p>	<p>3月14日：紙おむつ 10,000枚          生理用品 20,000枚          3月17日：納体袋 2,300枚          3月18日：マスク 50万枚          3月19日：マスク 22万枚          紙おむつ 11,455枚          生理用品 9,900枚          カイロ 12,000個          消毒液 250本          3月22日：ポンプ 1,080個          ポリタック 1,000個          3月23日：日用品セット 1,500セット          3月24日：ゴミ袋 12,500枚          3月25日：雨衣 100着          3月28日：日用品セット 1,500個          ゴミ袋 12,000枚          雨カッパ 100着          レインウェア 4,241着          ウェットシューズ 10,000パック          4月1日：マスク (N95) 200枚          4月4日：歯ブラシ・歯磨き粉セット 12,000セット          血・腕 (プラスチック製) 5,000枚          自転車 2台          固形石鹸 50,000個          紙おむつ (大人用) 72袋          紙おむつ (介護用) 36,000枚          ウェットシューズ 30,000パック          尿パット 1,050パック</p>	<p>岩手県</p>	<p>災害等支援対策本部被災地支援班 (4113・4114)</p>	<p>別途800枚確保済み 順次発送予定</p>
	<p>3月23日：タオル 7,541枚          哺乳瓶 60本          紙おむつ (子供) 23,599枚          紙おむつ (大人) 4,958枚          紙おむつ (不明) 3,000枚          生理用品 59,283枚          簡易トイレ 53基          子イッシュュ 692箱          防護服 500着          マスク 630,369枚          ブルーシート 2,100枚          断熱シート 4,327枚          ゴミ袋 2,100枚          消毒液 717本          軍手 918組          排泄物収納袋 5,000袋          懐中電灯 525個          日用品セット 74セット          固形燃料 1,000個          トイレペーパー 13,665個          凝固式トイレ 20,100個          薬剤トイレ 2,000個</p>	<p>山形県</p>		

<p>その他の物品</p>	<p>3月24日：タオル 17,240枚          哺乳瓶 114本          紙おむつ（子供） 1,656枚          紙おむつ（不明） 300枚          生理用品 28,952枚          防護服 500着          マスク 388500枚          ゴミ袋 2,400枚          消毒液 1,163本          軍手 2,000組          ろうそく 2,658本          懐中電灯 288個          日用品セット 3,196セット          メガホン 60本</p>	<p>山形県</p>	<p>災害等支援対策本部被災地          支援班(4113・4114)</p>	
	<p>3月25日：タオル 3,000枚          哺乳瓶 30本          紙おむつ（大人） 1,764枚          生理用品 65,554枚          簡易トイレ 25基          マスク 55,000枚          ビニールシート 400枚          ゴミ袋 256,000枚          消毒液 1,000本          ストープ 100機          テント 25張          固形式トイレ 260基          寝袋 900袋</p>			

5 大阪府の受入れ支援

支 援 内 容	対 象 者	箇 所 数	現 在 の 受 入 者 数	延 べ 受 入 者 数	問 い 合 わ せ 先	備 考
一時避難所の設置	一時的な入居を希望する被災者等	1か所 (府庁新別館南館10階)	3人	27人	災害等支援対策本部被災者受入班 (4125-4126)	
一時避難所 市町村の一時避難所の設置	一時的な入居を希望する被災者等	1か所 (大阪市・インテックス大阪)	0人	0人	大阪市支援総合相談所 (大阪市役所地下1階) (06-6208-8841) (9時から17時半まで (土日可))	

支 援 内 容	対 象 者	受 入 数		入 居 決 定 戸 数	入 居 戸 数	問 い 合 わ せ 先	備 考		
		当 面	最 大						
住 宅	被災者の方 (福島原子力発電所の事故に伴い避難指示を講じられた方を含む)	府営住宅での受入れ ※府営住宅の入居に関する相談「府民お問合せセンター」(#8001または 06-6910-8001)	450戸	2,000戸	59戸	41戸	住宅まちづくり部 住宅経営室 経営管理課 支援チーム (6307)		
		府住宅供給公社賃貸住宅での受入れ	25戸	100戸	1戸	1戸	住宅まちづくり部 住宅経営室 経営管理課 支援チーム (6307)		
		UR住宅での受入れ	200戸	400戸	15戸	15戸	住宅まちづくり部 居住企画課 住宅施策推進G (4363)		
		雇用促進住宅での受入れ	—	862戸	19戸	6戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営住宅指導G (3035)		
		市町営住宅での受入れ (大阪市、堺市を除く)	所管する市町村へお問い合わせください	165戸	255戸	30戸	30戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営住宅指導G (3036)	決定戸数には内定含む
		大阪市営住宅での受入れ	同上	242戸	505戸	87戸	68戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営住宅指導G (3036)	決定戸数には内定含む
		堺市営住宅での受入れ	同上	42戸	180戸	24戸	24戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営住宅指導G (3036)	
		民間住宅 (無償提供) での受入れ	被災者の方や原子力発電所の事故により避難している方	238戸	238戸	0戸	0戸	住宅まちづくり部 居住企画課 民間住宅助成G (4335)	4/11より受付
		社会福祉施設への受入れ	被災により市内の社会福祉施設への入所が必要となる方	被災各県等からの依頼に応じて、個別に対応・調整		0人	0人	福祉部福祉総務課総務・企画G (2413)	
		計		公営・公社住宅等計	241戸	185戸	185戸		
		社会福祉施設計	0人	0人	0人				

	支 援 内 容	対 象 者	問 い 合 わ せ 先	備 考
	被災者生活相談窓口の設置	被災者の方等	災害等支援対策本部被災者受入班 (4125・4126)	
生活	<p>様々な生活上の相談に応じる 開設時間：平日 午前9時から午後6時まで 開設場所：咲洲庁舎20階 被災者生活相談窓口（電話：06-6210-9290）</p>	被災者の方等	被災者の方等	
生活	<p>【大阪府受入避難者支援見舞金】 1. 給付金額 1 世帯当たり10万円（1回限り）。ただし、単身者については5万円。 2. 受付期間（予定） 平成23年3月29日（火曜日）から6月30日（木曜日）</p> <p>【生活福祉資金（緊急小口資金）貸付に関する特例措置】 1. 貸付金限度額 1 世帯当たり原則10万円以内 2. 貸付の方法 (1)据置措置 貸付の日から1年以内 (2)償還期限 (1)の据置期間経過後2年以内 3. 受付期間（予定） 平成23年3月29日（火曜日）から当分の間</p> <p>※「大阪府受入避難者支援見舞金」及び「生活福祉資金貸付（緊急小口資金）」の受付窓口は、ともに避難された方がお住まいの市町村社会福祉協議会等となります。</p>	被災者の方等	被災者の方等	
医療・介護	医療機関への受入れ	被災等により府内の医療機関への入院・通院が必要となる方	健康医療部健康医療総務課総務・企画G(2513)	
医療・介護	<p>・介護サービス ・障がい福祉サービス</p>	被災等により府内の医療機関への入院・通院が必要となる方	健康医療部健康医療総務課総務・企画G(2513)	
住宅情報等	<p>民間住宅（無償）の情報登録の受付 民間住宅（有償）の情報提供</p>	被災者の方等	<p>・福祉部高齢介護室介護支援課(4473) ・福祉部障がい福祉室障がい福祉企画課(4145)</p> <p>住宅まちづくり部 居住企画課 民間住宅助成G(3033)</p> <p>住宅まちづくり部 建築振興課 住宅指導G(3084)</p>	
ホームステイ	受入れボランティアの募集	被災者の方等	被災者の方等	<p>一定期間以上児童を受け入れ、受入費用をご負担いただいたご家庭</p> <p>※お問い合わせ先：「府民お問合せセンター」(#8001または 06-6910-8001)</p>

支 援 内 容		対 象 者	問 い 合 わ せ 先	備 考
税	府税の申告・納付等 府税に関する申告・納付等の期限延長、減免等			
中小企業 相談	特別相談窓口の開設 特別相談窓口：緊急経営支援（フロンティア）-（府商工労働部経営支援課）、府信用保証協会、府内商工会・商工会議所、府中小企業団体中央会、府商工会連合会	被災された中小企業等	商工労働部商工労働総務課企画 G (2617・2618)	
事務所等	一時貸出可能な事務所・研究スペースの 賃貸情報の提供 大阪府、大阪市などの公的機関における一時貸出し可能な事務所・研究スペースを 賃貸情報の提供	直接的に影響を受けた国内外の企業等	商工労働部企業誘致推進課誘致 推進G (4682・4680)	
金融	お金の悩み相談室の 開設（再チャレンジ 支援プラザ） 借金返済・債務整理と併せて自立（就職）等の相談 ○相談時間：午前9時から午後6時まで（土曜日、日曜日、祝日を除く） ○場所：大阪市住之江区南港北1-14-16 映洲庁舎25階 ○電話：06-6210-9512	被災され大阪府に避難されてきた方々	商工労働部貸金業対策課貸金業 対策G (内4671・4672)	
	公立高等学校後期入学者選抜	被災により学力検査等を受検できなかった受検者	教育委員会高等学校課学事G (3420・3421)	
教育	高等学校への受入れ	被災により大阪府内に転居することとなったた め、在籍校に通えない状況となった生徒	教育委員会高等学校課学事G (3420・3421) 府民文化部私学・大学課小中高 振興G (4856・4857)	
	小中学校への受入れ	被災地の高等学校等から大阪府立高等学校に新・ 転入学をする生徒 被災により大阪府内に転居することになった児 童・生徒	教育委員会財務課歳入G (3922・ 3926) 教育委員会小中学校課学事G (3423)	
就職	就職支援窓口の設置	被災者の方等	商工労働部雇用推進室労政課企 画G (2814)	
	緊急雇用創出基金事 業の活用	被災者優先枠の実施 同上	商工労働部雇用推進室労政課特 別基金G (2822)	

6 府民の皆様へのお知らせ

項目	内容	調査（検査）状況	現在の状況	問い合わせ先	備考
<p>環境放射能測定</p> <p>放射線モニタリング</p>	<p>放射線モニタリング結果は大阪府立公衆衛生研究所のホームページから国への報告状況をご覧ください。  <a href="http://www.iph.pref.osaka.jp/sei-kan/hsen.html">http://www.iph.pref.osaka.jp/sei-kan/hsen.html</a></p>	<p>文部科学省の委託により、常時、大気中の空間放射線量の測定を実施しています。</p>	<p>福島県における原子力発電所事故後も府内における空間放射線量は通常の値で推移しており、異常な値は計測されていません。          ・平成23年4月7日午後9時時点          0.041<math>\mu</math>Sv/h（マイクログロシーベルト毎時）          ・平成23年4月8日午前9時時点          0.042<math>\mu</math>Sv/h（平成21年度測定値：0.04（最低値）～0.063（最高値）、0.043（平均値）<math>\mu</math>Sv/h）          ※本データは、1<math>\mu</math>Gy/h（マイクログレイ毎時）=1<math>\mu</math>Sv/h（マイクログロシーベルト毎時）と換算して算出。（詳しくは、大阪府立公衆衛生研究所HP参照）</p>	<p>公衆衛生研究所          生活環境課          （代表）06-6972-1321</p>	
<p>上水（蛇口水）のモニタリング</p> <p>定時降下物のモニタリング</p>		<p>上水（蛇口水）について、毎日、水道蛇口から採取し、分析調査を行っています。</p> <p>定時降下物（雨水、粉じん等）について、毎日24時間、降水採取装置により採取し、分析調査を行っています。</p>	<p>現在のところ、上水（蛇口水）から、放射性物質（ヨウ素、セシウム）は検出されていません。</p> <p>現在のところ、定時降下物（雨、粉じん等）から、放射性物質（ヨウ素、セシウム）は検出されていません。</p>		
<p>食品の安全性確保</p>	<p>福島県等で生産された野菜や原乳等から、暫定規制値を上回る放射性物質が検出されたことをうけ、一部の地域及び品目について、国による出荷制限の指示や、自治体による出荷自粛がなされています。</p> <p>出荷制限や出荷自粛の状況は、農林水産省のホームページからご覧いただけます。  <a href="http://www.maff.go.jp/j/kambo/joho/saigai/s_ryutu.html#jk">http://www.maff.go.jp/j/kambo/joho/saigai/s_ryutu.html#jk</a></p>	<p>本府においては、出荷制限や出荷自粛された食品が府内で販売されないよう、保健所等の食品衛生監視員による監視を強化しています。</p> <p>詳細はホームページでも公表しています。  <a href="http://www.pref.osaka.jp/shokuhin/shimntyaku/hosyvasen.html">http://www.pref.osaka.jp/shokuhin/shimntyaku/hosyvasen.html</a></p>	<p>3月24日～4月8日までに中央卸売市場をはじめ、スーパーマーケット、小売店など4,558件の立入調査を実施。</p> <p>国による出荷制限や自治体による出荷自粛以降に出荷された食品は確認されませんでした。</p>	<p>健康医療部食の安全推進課安全推進G（2563、2567）</p>	

## 【関西広域連合（和歌山県）】

< 4月8日分 >

### ○ 平成23年（2011年）東日本大震災に対する支援状況等について（第26報）

和歌山県の支援状況

#### 【新着情報】

##### ○人的支援

###### ・保健師等派遣

第7班 4月8日（金）～4月12日（火）

3名派遣（県保健師2名、県事務職員1名）

※4月8日夕刻引き継ぎ、4月9日から現地活動

###### ・こころのケアチーム派遣

3月28日（月）から4月16日（土）までの派遣期間を5月1日（日）まで延長

※業務終了後は山口県に引き継ぐ予定

###### ・日赤和歌山支部医療救護班の派遣

第8班 4月8日（金）～4月13日（水）

10名派遣（医師1名、看護師4名、薬剤師1名、事務職員2名、その他2名）

###### ・医療救護班の派遣

第8班 4月9日（土）～4月13日（水）予定

国保日高総合病院5名（医師1名、看護師2名、薬剤師1名、調整員1名）

※4月10日岩手県山田町の豊間根中学校で活動開始（予定）

###### ・和歌山県立医科大学附属病院の医師派遣

4月8日（金）～4月14日（木）

医師1名 福島県立医科大学へ派遣

##### ○被災地支援（住宅の提供）

前日からの変動 県営住宅の提供 2戸5名入居（計4戸15名）

##### ○被災地支援（市町村の支援状況）

和歌山市 岩手県への保健師等の派遣（4/5～4/9）

岩手県への支援物資輸送（4/8出発）

岩手県への職員派遣（4/8出発）

かつらぎ町 給水活動 大船渡市 人員2名（4/11出発予定）

##### ○その他支援

###### ・被害地支援・災害ボランティアバス運行（4/8岩手県大槌町へ向け出発）

（ボランティア20名、県職員1名、社会福祉協議会職員1名）

###### ・和歌山県医師等災害ボランティア受付窓口

登録13件（医師2名、看護師9名、薬剤師1名、鍼灸師1名）

###### ・災害義援金 4月8日現在 216,172,505円

**【現在の状況】**

- 1 被災地支援（人的支援）
- 2 被災地支援（物的支援）
- 3 被災地支援（住宅の提供）
- 4 被災地支援（放射能の影響に関する健康相談窓口等）
- 5 被災地支援（市町村の支援状況）
- 6 被災地支援（その他の支援）

1 和歌山県の被災地支援(人的支援:県職員)

支援項目		現在の派遣人員	派遣期間	派遣先	支援内容	備考・問い合わせ先
総合	関西広域連合岩手県現地事務所(大阪府・和歌山県現地支援本部)	2人	3月14日～	岩手県	現地情報の収集	県危機管理局 073-441-2262
	岩手県支援物資集積場要員	4人	3月27日～	岩手県産業文化センター「アピオ」	物資の受入・出荷・車両誘導等	
健康医療関係	保健師等派遣	7人	3月16日～3月21日 4人 3月19日～3月25日 4人(和歌山市職員) 3月24日～3月29日 4人 3月28日～4月2日 4人(和歌山市職員) 4月1日～4月6日 3人 4月5日～4月9日 4人(和歌山市職員) 4月8日～4月12日 3人	岩手県立山田高等学校	健康相談、健康チェック、避難所の衛生対策	
	こころのケアチーム派遣	4人	3月28日～5月1日 6チームによる交代制	岩手県釜石保健所	被災者への心のケア	
	公衆衛生医師等の派遣	5人	4月6日～4月末(予定) 5人	福島県三春町	被災者の健康チェック、健康相談・公衆衛生対策等	
救助活動	和歌山県防災ヘリコプター派遣	—	3月12日～18日 1機	被災地全域	人命救助・医師等搬送	
災害調査	下水道災害復旧支援	0人	4月1日～4月8日	宮城県多賀城市	下水道管路被害調査	県下水道課 073-441-3200

和歌山県の被災地支援(人的支援・関係機関職員)

支援項目		現在の派遣人員	派遣期間	派遣先	支援内容	備考・問い合わせ先
救助活動	緊急消防援助隊	0人	3月13日～3月20日 第1次106人 第2次101人	宮城県女川町 岩手県石巻市 他	人命救助	
医療援助	DMAT(災害派遣医療チーム)	0人	3月12日～15日 計3隊	岩手県花巻市内	医師、看護師等による病院支援	県健康福祉部医務課 073-441-2604
健康医療関係	日赤和歌山支部医療救護班派遣	20人	3月11日～3月15日 10人 3月15日～3月19日 13人 3月19日～3月23日 11人 3月23日～3月27日 11人 3月27日～3月31日 11人 3月31日～4月5日 12人 4月4日～4月9日 10人 4月8日～4月13日 10人	岩手県山田町 大沢小学校	医療支援	
	南和歌山医療センター医療救護班派遣	0人	3月16日～3月20日 6人	宮城県仙台市	医療支援	
	医療救護班(県立医大他)	5人	3月19日～3月23日 7人(県立医科大学) 3月22日～3月26日 7人(県立医科大学) 3月25日～3月29日 7人(社会保険紀南病院) 3月28日～4月1日 4人(県立医科大学) 3月31日～4月4日 4人(県立医科大学) 4月3日～4月7日 4人(県立医科大学) 4月6日～4月10日 5人(橋本市民病院) 4月9日～4月13日 5人(国保日高総合病院)	岩手県山田町 豊間根中学校	医療支援	
	和歌山県立医科大学医師派遣	1人	3月20日～3月26日 1人 3月25日～3月30日 1人 4月1日～4月7日 1人 4月8日～4月14日 1人	福島県立医科大学	医療活動	

## 2 和歌山県の被災地支援(物的支援)

搬送日	品目	数量	搬出先	備考	
H23.3.14	毛布	1,500 枚	福島県いわき市	・消防庁の要請 ・県備蓄物資	
	毛布	5,000 枚	福島県田村市		
H23.3.16	米類	30,000 食	岩手県滝沢村	・県備蓄物資 27,000食 ・市町村備蓄物資 3,000食 ・市町村備蓄物資(500ml)	
	水	10,000 本			
	毛布	1,500 枚		・民間企業からの提供	
	防災マット	300 枚			
	防災クッション	100 枚			
	ボックスティッシュ	3,180 箱			・県保管物資
	乳児用おむつ	4,000 枚			・市町村備蓄物資
	マスク	20,000 枚			・県備蓄物資 300枚 ・市町村備蓄物資 200枚
ブルーシート	500 枚				
H23.3.18	飲料水	5,800 本	岩手県滝沢村	・県民、民間企業からの提供	
	カップ麺	3,500 個			
	ウェットティッシュ	2,300 個			
	使い捨てカイロ	25,000 個			
H23.3.21	飲料水	116,194 本	宮城県石巻市	・県民、民間企業からの提供	
	カップ麺	35,075 個	岩手県滝沢村		
	ウェットティッシュ	25,787 個			
	使い捨てカイロ	238,465 個			
	米類	21,480 食	宮城県石巻市	・市町村備蓄物資	
	乾パン	14,280 食	岩手県滝沢村	・民間企業からの提供	
	飲料水	5,272 本			
	調味梅干	5,000 パック			
線香	39 箱				
H23.3.25	木炭	100 箱	岩手県滝沢村	・民間企業からの提供	
	靴下	1,000 足			
	肌着(大人用)	200 着			
	男性用下着	8,100 枚			
	子供服(女児用)	8,800 着			
	ヤッケ	5,500 着			
	洗濯ばさみ	960 セット			
	線香	2,700 束			
生理用品	8 箱	・県民からの提供			
H23.3.31	醤油	1,200 本	岩手県滝沢村	・町からの提供	
	靴下	1,000 足		・民間企業からの提供	
	歯ブラシ	63,000 本			
	ご遺体用除菌消臭剤(パウダー)	800 個			
	ご遺体用除菌消臭剤(ゲル)	240 個			
	ご遺体用除菌消臭剤(スプレー)	8 本			
	紙コップ	1,825 個			
	靴	367 足			
	子ども用靴	354 足			
	子ども用長靴	52 足			
	トイレトペーパー	640 ロール			
	除菌スプレー(本体)	20 個		・県民からの提供	
	除菌スプレー(詰め替え用)	10 袋			
	大人用おむつ	650 枚			
	子ども用おむつ	2,400 枚			
	ベビーフード	64 食			
ベビーフード(飲料)	33 本				

問い合わせ先  
福祉保健総務課  
TEL 073-441-2472

### 3 和歌山県の被災地支援(住宅の提供について)

県営住宅、市営住宅等を提供(家賃、敷金、礼金は無償、共益費は有償)

支援内容		提供戸数	前日からの変動		現在の状況	
			入居戸数	受け入れ人数	入居戸数 (延べ入居戸数)	受け入れ人数 (延べ受け入れ人数)
県営住宅の提供		102	2	5	4 (4)	15 (15)
市営住宅等の 提供	和歌山市	50			3 (3)	12 (12)
	海南市	1				
	橋本市	3				
	御坊市	1				
	田辺市	12			1 (2)	3 (6)
	新宮市	15				
	紀美野町	2			1 (1)	3 (3)
	かつらぎ町	9				
	九度山町	5				
	高野町	4				
	湯浅町	2				
	日高川町	2				
	白浜町	2				
	上富田町	1				
	すさみ町	5				
	那智勝浦町	1				
串本町	2					
合計		2	2	5	9 (10)	33 (36)

※ 申し込み、問い合わせ先

県土整備部都市住宅局建築住宅課 073-441-3210

平成23年4月末までは、土曜日・日曜日・祝日も受付対応

(午前9時～午後5時45分)

## 4 被災地支援(放射能の影響に関する健康相談窓口等)

### 放射線の影響に関する健康相談窓口等について

健康福祉部 難病・感染症対策課

和歌山県では県環境衛生研究センター(和歌山市)において、文部科学省の委託を受けて空気中の放射線量の測定を行っています。

#### ●県民の健康への影響について

・3月11日の震災発生以降、上記の測定値は平常値で推移しております。  
県民の皆様の健康には影響はありませんので、冷静な対応をお願いします。

#### ●放射線の影響に関する健康相談窓口

・福島原子力発電所周辺の避難・屋内退避圏内から和歌山県に避難して来られた方等、原子力発電所事故による健康への影響が心配な場合は下記で電話相談を受け付けています。

※ 避難・屋内退避圏外から来られた方は心配ありません。

相談窓口	電話番号	開設日時
和歌山市保健所	073-433-2261	月～金(祝日を除く) 8:30～17:15
岩出保健所	0736-61-0020	月～金(祝日を除く) 9:00～17:45
橋本保健所	0736-42-3210	
海南保健所	073-482-0600	
湯浅保健所	0737-64-1291	
御坊保健所	0738-22-3481	
田辺保健所	0739-26-7931	
新宮保健所	0735-21-9630	
新宮保健所串本支所	0735-72-0525	
県庁難病・感染症対策課 (人の健康に関すること)	073-441-2643	
県庁食品・生活衛生課 (食品の安全に関すること)	073-441-2624	

## 5 被災地支援(市町村の支援状況)

和歌山県内各市町村の東日本大震災に関する支援状況 平成23年4月8日 15時現在 NO.1

和歌山県東北地方太平洋沖地震被災地支援対策本部 県総務部危機管理局

※ 下線部が変更事項

市町村名	支援本部等 設置状況	設置日	主な支援状況等
1 和歌山市	○	H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急消防援助隊 5隊20名 3/12 (3/20帰還)</li> <li>給水支援 2t車1台 3/14出発</li> <li>義援金の受付 3/14開始</li> <li>救援物資提供 3/16 岩手県へ(食料、水他)</li> <li>保健師等の派遣 3/19岩手県へ 3/19～3/25 4名(保健師2名、事務職2名) 3/28～4/2 4名(保健師2名、事務職2名) 4/5～4/9 4名(保健師2名、事務職2名)</li> <li>医師、診療放射線技師等の派遣 3/19福島県へ 3/19～3/25 3名(医師1名、放射線技師1名、事務職1名) 3/24～3/30 3名(医師1名、放射線技師1名、事務職1名) 3/29～4/3 3名(医師1名、放射線技師1名、事務職1名)</li> <li>被災地への支援物資輸送及び職員派遣(4/8出発) 岩手県花巻市及び宮古市に支援物資(学用品、生活支援物品)を輸送 岩手県宮古市に避難所等の状況を把握するため職員4名を派遣</li> </ul>
2 海南市	○	H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金の受付 3/15開始</li> <li>緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還)</li> <li>給水支援 3t車 1台</li> <li>救援物資提供 3/16岩手県へ(ブルーシート、マスク他) 3/18 アルファ米1,000食</li> <li>看護師派遣 1名(岩手県) ～4月2日</li> <li>看護師派遣 1名(宮城県) ～4月7日</li> </ul>
3 橋本市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金の受付 3/14開始</li> <li>緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還)</li> <li>給水支援 4t車 1台(3/24帰還)</li> <li>物資提供 3/18 水1.5L×720本</li> <li>看護師4名派遣 (4/4～4/8まで2名が宮城県、4/6～4/10まで2名が岩手県へ)</li> <li>自治体としての義援金を、岩手県市長会へ100万円、宮城県市長会へ50万円、福島県市長会へ50万円、4/4に送金。</li> </ul>
4 有田市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金の受付 3/15開始</li> <li>緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還)</li> <li>物資提供 3/18 アルファ米 1,600食</li> </ul>
5 御坊市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民からの義援金の受付 3/14開始</li> <li>義援金(御坊市)を全国市長会へ送付(4/5)</li> <li>緊急消防援助隊 10名 (3/20帰還)</li> <li>物資提供3/18 アルファ米 1,000食 カンパン 720缶</li> </ul>
6 田辺市	○	H23.3.18	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金の受付 3/15開始</li> <li>緊急消防援助隊 28名(第1～2陣)(3/20帰還)</li> <li>救援物資支援 茨城県笠間市 ブルーシート 3/12 岩手県一関市 毛布、飲料水他 3/13・3/14 県の救援物資集積への協力 クラッカー9,000食 3/18 茨城県笠間市 飲料水約10トン 3/25 茨城県高萩市 飲料水2.5トン、梅干し等 3/30</li> </ul>
7 新宮市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還)</li> <li>給水支援 3台 宮城県名取市2台 茨城県高萩市1台</li> <li>物資提供 水、非常食、毛布</li> </ul>
8 紀の川市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金の受付 3/14開始</li> <li>給水支援 2t車1台他 岩手県盛岡市へ3/18出発</li> <li>3/18 救援物資支援 宮城県登米市へ おむつ、粉ミルク、懐中電灯他</li> <li>3/22 福島県相馬市 救援物資(食料)支援</li> </ul>
9 岩出市	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金の受付 3/15開始</li> <li>備蓄品の供出 3/18 アルファ米 2,500食、 カンパン 3,000缶、保存水 1,008本(500ml)</li> </ul>
10 紀美野町	○	H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金の受付 3/14開始</li> <li>給水支援 3t車1台 3/15午後出発</li> <li>緊急消防援助隊 4名 3/12 (3/20帰還)</li> <li>備蓄品の供出 3/19 アルファ米 500食他</li> </ul>
11 かつらぎ町	○	H23.4.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金の受付 3/14開始</li> <li>県の救援物資集積への協力 町役場にて収集 カップ麺60箱、飲料水135箱、カイロ30箱 ウエットティッシュ14箱</li> </ul>
12 九度山町	○	H23.3.17	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金の受付 3/14開始</li> <li>備蓄品の供出 アルファ米 800食 保存水 2L 60本</li> <li>救援物資 3/21発送 飲料水 2L 12,480本</li> </ul>

	市町村名	支援本部等 設置状況	設置日	主な支援状況等
13	高野町	—	—	・義援金の受付 3/14開始 ・緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還)
14	湯浅町	○	H23.3.14	・義援金の受付 3/14開始 ・緊急消防援助隊 3名 救急車1台 (3/20帰還) ・備蓄品の供出 アルファ米600食 救援物資 水2L 1200本
15	広川町	○	H23.3.14	・義援金の受付 3/15開始 ・町民へ救援物資受付の周知(放送) ・3/18 町民からの救援物資受付 カイロ等 約2万個
16	有田川町	○	H23.3.14	・義援金の受付 3/14開始 ・緊急消防援助隊 10名 (3/20帰還) ・救援物資 アルファ米 3,000食 水2L 1,134本
17	美浜町	○	H23.3.28	・義援金の受付 3/14開始 継続受付中 ・救援物資 3/17～18 第一次受付終了 ・3/18 アルファ米 1,000食 備蓄用パン 480食
18	日高町	—	—	・義援金の受付 3/15開始 ・衛星携帯電話の貸与 (日高広域消防、緊急消防援助隊) ・備蓄品の供出 カンパン 1,000個
19	由良町	検討中	—	・義援金の受付 3/14開始
20	印南町	○	H23.3.14	・義援金の受付 3/15開始
21	みなべ町	—	—	・義援金の受付 12箇所募金箱設置 ・救援物資 3/17 茨城県水戸市へ 全国梅サミット 災害応援協定による (紙おむつ、飲料水、梅干し他) ・3/17義援金の町専用口座開設 チラシ各戸配布(3/18) ・県の救援物資集積への協力 町役場駐車場にて収集 カップ麺、飲料水、カイロ等 約16,000個
22	日高川町	—	—	・義援金の受付 3/14開始
23	白浜町	○	H23.3.18	・義援金の受付 3/14開始 ・緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) ・町から物資支援 アルファ米200食、飲料水 720本等 ・白浜観光協会等の物資支援 飲料水100ケース
24	上富田町	○	H23.3.14	・義援金の受付 3/14開始 ・救援物資3/18出発 岩手県宮古市へ(役場及び町民協力) ・救援物資(野菜、調味料等)4/3出発 岩手県宮古市へ 職員2名
25	すさみ町	○	H23.3.15	・義援金の受付 3/15開始 ・緊急消防援助隊(白浜消防装備拠出)
26	那智勝浦町	○	H23.4.1	・義援金の受付 3/14開始 ・4/1 救援対策連絡室の設置 ・気仙沼市での炊き出し支援(4/15～4/18予定) ・大船渡市で給水支援 2名(日本水道協会からの要請) ・岩手県への保健師の派遣 4月26日～4月30日(厚生労働省からの要請) ・岩手県への職員派遣(県、町村会からの要請)
27	太地町	○	H23.3.15	・義援金の受付 ・備蓄品の供出(3,000食分)
28	古座川町	—	—	・義援金の受付 3/15開始 ・古座川町からの義援金 ・救援物資 白米2.7t 岩手県宮古市 ・備蓄品の供出(アルファ米 500食)
29	北山村	—	—	・義援金の受付 準備中
30	串本町	○	H23.3.16	・義援金の受付 3/15開始 ・緊急消防援助隊 3名 (3/20帰還) ・救援物資 白米 17.5t(岩手県宮古市) ・備蓄品の供出 (岩手県宮古市) おむつ、粉ミルク他 ・救援物資 3/18 アルファ米 500食(岩手県へ)

## 6 和歌山県の被災地支援(その他の支援について)

項目	内容	現在の状況	問い合わせ先
災害義援金口座の開設	和歌山県が「東北地方太平洋沖地震災害義援金」を募集。	4月8日現在 216,172,505円	福祉保健総務課 電話 073-441-2472
東北地方太平洋沖地震被災地への災害義援金について	和歌山県議会では、全議員44名の負担により東北地方太平洋沖地震の被災者支援のため、義援金100万円を送ることを決定。		
和歌山県からの見舞金について	岩手県、宮城県及び福島県に対し、和歌山県から、それぞれ300万円の見舞金。3月29日、和歌山県東京事務所長が各県東京事務所長に目録を届ける。		
和歌山県医師等災害ボランティア受付窓口開設	3月18日(金)、ボランティアを行う意志のある医師等医療従事者から申し込みを受け付ける窓口等を設置。	4月8日現在 13件登録 (医師2名、看護師9名、薬剤師1名、鍼灸師1名)	医務課 電話 073-441-2603 (土日祝日を除く午前9時～午後5時45分) FAX 073-424-0425 (終日)
児童生徒の受け入れ	東北地方太平洋沖地震に被災し、和歌山県内に転居される方で、公立学校への入学・転入学・編入学を希望される児童生徒について、和歌山県教育委員会の各担当窓口を設置。		教育委員会学校指導課 電話 073-441-3686 【小・中学校】 義務教育班 073-441-3705 【特別支援学校】 特別支援教室 073-441-3683 【高等学校】 高等教育班 073-441-3662
被災地支援・災害ボランティアバスの運行	和歌山県・和歌山県災害ボランティアセンターでは、被災地にボランティアバスを運行。	応募状況 83名 (4月5日〆切) 第1回派遣20名決定 4月8日(金)岩手県大槌町へ向け出発 (ボランティア20名、県職員1名、社会福祉協議会職員1名)	県民生活課 NPO・県民活動推進室 電話 073-441-2053 ※ 募集は既に終了しています。
被災者のホテル・旅館等への受け入れ	和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携した取り組みとして、地震などによる被災者の方々が生活する施設(旅館・ホテル)を開始日(4月5日)から平成23年5月31日まで用意。		食品・生活衛生課 電話 073-441-2620
給水支援	和歌山市 給水車(2t)1台+支援車1台 人員4名	人員のみ帰還(派遣先:大船渡市)	
	海南市 給水車(3t)1台+支援車1台 人員4名	人員のみ帰還(派遣先:大船渡市)	
	新宮市 トラック+2tタンク積載を1台 人員2名	宮城県名取市で給水活動中	
	橋本市 給水車(4t)1台 人員2名	帰還(派遣先:大船渡市)	
	田辺市	茨城県高萩市へ出発し、17日に新宮市と引き継ぎを予定していたが延期	
	新宮市 給水車(4t)1台+支援車1台 人員5名	茨城県高萩市へ出発したが、活動を中止し帰還	
	岩出市 給水車(3t)1台+支援車1台 人員4名	岩手県盛岡市へ出発予定であったが、受け入れ体制が整うまで待機	
	紀の川市 トラック+2tタンク積載を1台 給水袋2,000袋 人員4名	帰還(派遣先:宮城県登米市)	
	紀美野町 給水車(3t)1台+支援車1台 人員4名	帰還(派遣先:大船渡市)	
	白浜町 人員2名	帰還(派遣先:大船渡市)	
	美浜町 人員2名	帰還(派遣先:大船渡市)	
	田辺市 人員2名	和歌山市・海南市の給水車を使用し、大船渡市で給水活動中	
	有田川町 人員2名	和歌山市・海南市の給水車を使用し、大船渡市で給水活動中	
	有田市 人員2名 (4月8日出発)	和歌山市・海南市の給水車を使用。今後、県内市町村で順次交代しながら給水活動していく予定	
かつらぎ町 人員2名	派遣先:大船渡市(4/11出発予定)		

## 【関西広域連合（徳島県）】

< 4月8日分 >

### ○ 4月7日に発生した強い余震に伴う宮城県女川町小中学校の始業式延期について

徳島県が、重点的に教育分野の支援を行ってきた女川町では、昨夜11時32分ごろ、宮城県沖を震源とするマグニチュード7.4の大きな地震が発生したことに伴い、本日予定していた始業式を延期することとなりました。今後の予定については、現在調整中とのことです。

なお、現地で活動中の教職員8名の無事は確認されております。

### ○ オーシャン東九フェリーによる東日本大震災の被災者に対する支援について

徳島県では、関係機関と協力しながら、県を挙げて支援の取り組みを進めているところでありますが、オーシャントランス（株）から県営住宅等に入居される被災者の方を対象に、オーシャン東九フェリーによる東京・徳島間の移動に係る旅客運賃を無料にしていただけとの申し出がありましたので、お知らせいたします。

#### 1 対象者

東日本大震災により住宅に甚大な被害を受けた方、もしくは、住宅に困窮されている方<sup>注1</sup>で、県営住宅等への入居が決定、または予定のある方。

（注1 福島原子力発電所の事故に伴い避難措置を講じられている方を含む）

#### 2 対象航路及び割引内容

オーシャン東九フェリーによる東京・徳島間の航路

- ・旅客運賃：無料
- ・車両運賃：3割引

#### 3 対象期間

平成23年4月8日から県営住宅等提供の申し込み完了までの間

#### 4 申込期限

原則、乗船の3日前まで

（なお、フェリーの予約状況により乗船できない場合も有ります）

#### 5 問い合わせ先

徳島県県土整備部運輸総局運輸政策課 企画担当

電話 088-621-2584

○ 東日本大震災にかかる教育分野「学校再開支援チーム」（第2陣）の派遣について

東日本大震災における被災者対策として、3月19日から、教職員を宮城県石巻市、女川町等に派遣し、「心のケア」や「学校再開」等の支援を行ってきたところです。

宮城県内は、昨夜も強い余震に見舞われ、本日予定されていた女川町の小中学校の始業式が延期されるなど、厳しい状況が続いておりますが、こうした中でも、地域の「学校再開」を望む声は、日増しに大きくなってきております。

本県では、引き続き「学校再開支援チーム」を派遣し、一日も早い「学校再開」が実現できるよう支援してまいります。

◆ 現地支援要員

○ 派遣期間 平成23年4月10日（日）から4月15日（金）

○ 派遣要員 5名

チームリーダー	教育文化政策課	副課長	山中	久美子
班員	富岡小学校	教諭	兼任	史也
班員	海南小学校	助教諭	富田	裕希
班員	城西中学校	教諭	中山	英治
班員	阿南工業高校	教諭	福井	健持

○ 派遣先 宮城県女川町の小中学校等

◆ 派遣にあたり、次のとおり壮行式を行います。（知事出席予定）

平成23年4月10日（日） 午前6時00分  
県庁西側 正面玄関

○ 原子力発電等に関する緊急申し入れについて

本日午後5時に、川長県民環境部長及び佐野政策企画総局長から四国電力株式会社に対して、別添のとおり申し入れを行いました。

# 原子力発電等に関する緊急申し入れ

平成23年4月8日

関西広域連合

## 原子力発電等に関する緊急申し入れ

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震は、東北地方を中心に甚大かつ深刻な被害を与え、戦後最大の災害となっています。

関西広域連合では、被災地における一日も早い復旧・復興を心から願い、16 年前の阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、構成府県が一丸となって、被災地への支援に全力で取り組んでいるところです。

こうした中、東京電力福島第一原子力発電所で発生した原子力災害においては、現場の懸命の努力にも関わらず、放射性物質が放出され、住民の被ばく、農作物の汚染など、周辺環境に重大な被害を与えています。

関西は、2,000 万人を超える人々の生活が営まれ、琵琶湖を始めとした水源、全国へ出荷する農作物の生産地、日本のものづくりを支える産業や都市機能、歴史的遺産としての豊かな自然・文化のもとに、生活が営まれています。特に、立地地域における影響や今後の地域の発展を考えると、万が一への備えが不可欠であります。

貴社におかれても、「災害に強い関西」として、住民が信頼できる原子力災害対策をはじめ、中長期的な自然エネルギー供給への対応についても、積極果敢な取組を推進されるよう申し入れます。

平成 23 年 4 月 8 日

### 関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸 敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂 吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田 由紀子
委員	京都府知事	山田 啓二
委員	大阪府知事	橋下 徹
委員	鳥取県知事	平井 伸治
委員	徳島県知事	飯泉 嘉門

## 申し入れ事項

### I 原子力発電所の一層の安全確保対策について

#### (1) 原子力発電所等の安全の確保について

今回の重大な原子力発電所の事故を受け、原子力発電所の安全性に対する住民の不安が高まっていることから、「止める」「冷やす」「閉じこめる」機能について「想定外の事態」とならないよう、地震および津波等に対する安全性向上に万全の対策を構じられたい。

特に、原子炉冷却のための電源対策や電源以外の冷却手段の確保対策を行うこと。

#### (2) 監視体制の強化および情報提供の徹底について

今回、福島第一原発から30km以内の地域では避難等が指示されたことに鑑み、現在は8~10kmとされているE P Zの範囲を越える地域に対しても、モニタリングポストの設置等放射線および放射性物質のより一層の監視体制強化を図ると共に、原子力発電や放射性物質等に関する正しい情報を提供し、住民が適切な判断に基づき行動できるよう、努められたい。

#### (3) 情報伝達体制の徹底について

福島での原子力事故では東京電力からの情報伝達について遅れが生じ、住民に混乱が生じた。原子力発電所で、万一事故が発生した場合には、原子力事業者から国、関係府県、関係市町等への連絡体制が構築されているが、今回のようなことがないよう情報伝達体制を再点検し、万全を期されたい。

### II 原子力災害対策のための体制整備について

今回の事故により放射性物質が外部に放出され、現在のE P Zの圏外である、半径20キロ圏内の住民に避難指示を、半径30キロ圏内の住民に自主避難の措置がとられたことから、これまでの原子力災害対策を抜本的に見直しするため、体制の整備について以下の協力を要請する。

#### (1) 原子力災害対策にかかる法律等の見直しについて

E P Zの範囲の見直しなどの防災指針の改訂や、原子力発電所の立地から対策に至るまでの一貫した対応、関係隣接県の取扱いの広範囲化などといった、原子力災害対策にかかる法律の改正等、所要の措置を講ずるよう国に強く働きかけられたい。

また、今回の事故ではオフサイトセンターが十分に機能していないため、その検証を国とともに十分行うこと。

#### (2) 情報の提供について

地域防災計画の見直しを検討するため、原子力施設の安全対策、監視体制にかかる情報を積極的に提供願いたい。

### (3) 連携の強化について

原子力事業者と関係府県が連携して、原子力災害対策に取り組むことができるよう、立地県だけでなく、近隣府県とも定期的な協議の場を設けるなど連携の強化を図られたい。

## Ⅲ 自然エネルギー導入への積極的な取組について

関西広域連合では、環境問題を関西全体で捉え、地球温暖化対策に取り組んでおり、省エネ推進はもとより電気自動車の普及促進など化石燃料に代わるエネルギー源への転換を進めている。そうした中、環境負荷が少なく、地域に広く存在する太陽光などの自然エネルギーの導入は不可欠である。

貴社におかれても、こうした自然エネルギーの利用にかかる研究開発を加速的に進め、積極的導入を図るよう取組を進められたい。

○ 東日本大震災に係る関西広域連合(徳島県) 被災地支援(医療・保健)チーム 第9陣  
被災地支援(介護支援)チーム 第2陣 派遣壮行式について

3月11日に発生した、「東日本大震災」に被災した避難住民等の医療救護活動、健康相談活動、心のケア等を行うため、関西広域連合の一員として、次のとおり医療・保健分野における被災地支援チーム(第9陣)を派遣します。

また、在宅で介護を必要とする世帯の介護・生活援助、相談支援活動を行うため、介護支援チーム(第2陣)を派遣します。

出発にあたり、次のとおり壮行式を行います。

1 先発隊壮行式

- (1) 日 時 平成23年4月9日(土) 午前8時00分から  
(2) 場 所 県庁1階 正面玄関ホール  
(3) 出席者 小森 保健福祉部長  
被災地支援チーム 総勢23名
- 被災地支援(医療・保健)チーム 20名
    - ・現地連絡員 1名
    - ・医療救護チーム 13名
    - ・災害支援ナース 2名
    - ・心のケアチーム 4名
  - 被災地支援(介護支援)チーム 3名

2 後発隊壮行式

- (1) 日 時 平成23年4月9日(土) 午前10時00分から  
(2) 場 所 県庁1階 正面玄関ホール  
(3) 出席者 小森 保健福祉部長  
被災地支援(保健師)チーム 6名

3 派遣場所

医療・保健チーム 宮城県仙台市、石巻市及びその周辺  
介護支援チーム 南三陸町

被災地支援チーム（医療・保健チーム第9陣、介護支援チーム第2陣）

	所 属	氏 名	職 種	備 考
現地連絡員	医療政策課	田中 稔	事務職	
保健師チーム	吉野川保健所	佐藤 加代子	保健師	後発隊
	小松島市	広峰 妙	保健師	後発隊
	保健福祉政策課	徳善 祐介	事務職	後発隊
	徳島保健所	徳永 あいこ	保健師	後発隊
	三好保健所	梅田 弥生	保健師	後発隊
	長寿介護課	奥田 理悦	事務職	後発隊
医療救護チーム ①	県立中央病院	重清 俊雄	医 師	
	県立中央病院	三澤 俊一	医 師	
	県立中央病院	細岡 陽子	医 師	
	県立中央病院	野田 真理子	看護師	
	県立中央病院	圓藤 由香利	看護師	
	県立中央病院	辻井 大輔	薬剤師	
	県立海部病院	野田 照男	事務職	
	健康保険鳴門病院	中村 武司	理学療法士	
	小松島病院	東田 武志	理学療法士	
医療救護チーム②	徳島大学病院	栗田 信浩	医 師	
	徳島大学病院	川西 千恵美	看護師	
	徳島大学病院	中村 敏己	薬剤師	
	徳島大学病院	桑村 憲治	事務職	
災害支援ナース	木下病院	松平 順子	看護師	
	木下病院	中野 祐弥	看護師	
心のケアチーム	徳島大学病院	亀岡 尚美	医 師	
	徳島大学病院	片岡 三佳	看護師	
	徳島大学病院	宮崎 厚子	心理士	
	こども未来課	加守 寛士	事務職	
介護支援チーム	(福) 青陽会	鎌田 敬	介護支援専門員	
	(福) 青陽会	歳清 裕郎	介護福祉士	
	地域福祉課	宮本 忠良	事務職	

## ○ 東日本大震災に関する徳島県の被災地支援の状況について

### 1. 本日の主な動き

#### (1) 第2回被災地支援・チーム連絡会

- ・午前11時から、徳島県宮城現地支援本部派遣職員、各チームからの報告の後、政策監から8チームそれぞれに対し、対応方を指示。

#### (2) 「オーシャン東九フェリー」による東日本大震災の被災者に対する支援

オーシャントランス(株)の協力により、県営住宅等に入居される被災者の方を対象とした「オーシャン東九フェリー」による東京・徳島間の移動に係る旅客運賃の無料化等。

#### (3) 原子力発電等に関する緊急申し入れ

- ・関西広域連合構成府県により、関係電力各社（本県は四国電力(株)）に対し、緊急申し入れを実施。

##### (申し入れ事項)

- ・原子力発電所の一層の安全確保対策について
- ・原子力災害対策のための体制整備について
- ・自然エネルギー導入への積極的な取り組みについて

#### (4) 人的支援

##### ・徳島県災害ボランティア先遣隊（20名）

東日本大震災で大きな被災を受けた地域において、今後のボランティア活動のリーダー的な役割を担う「徳島県災害ボランティア先遣隊」が、午後1時からの壮行式（副知事出席）の後、気仙沼市大島に向け出発。

##### ・宮城県北部沿岸市町支援本部派遣職員

###### 第3陣（21名）

1班（4名） 気仙沼市にて支援活動に従事。

2班（8名） 南三陸町にて支援活動に従事。

3班（3名） 石巻市にて支援活動に従事。

4班（6名） 女川町にて支援活動に従事。

###### 第4陣（30名 県・市町村各15名）

午後0時15分からの壮行式（副知事出席）の後、宮城県に向け出発。

※ 今回から県内市町村からも新たに職員を派遣。

- ・学校再開支援チーム 第1陣（5名）  
女川町にて「学校再開」の支援活動に従事。  
なお、本日より予定していた始業式及び入学式は延期。
- ・被災地支援（医療・保健）チーム 第8陣  
保健師チーム（6名）  
仙台市若林区区内避難所等（大和小学校，遠見塚小学校，家庭訪問）にて支援活動に従事。  
  
医療救護チーム（10名）  
石巻市立万石浦中学校にて支援活動に従事。  
  
災害支援ナース（2名）  
石巻市遊楽館にて支援活動に従事。  
  
心のケアチーム（4名）  
仙台市若林区区内避難所等（大和小学校，遠見塚小学校 他4カ所）にて支援活動に従事。
- ・被災地支援（介護支援）チーム 第1陣（3名）  
南三陸町にて支援活動に従事。
- ・徳島県歯科医師会 歯科医療チーム（5名）  
歯科診療による支援活動を行うため，宮城県に向け出発。
- ・「大震災ボランティアだより」第3報の配信  
情報配信登録者に対して「大震災ボランティアだより」第3報を配信。

#### （5）環境放射能の調査結果

- ・空気中の放射線量の測定  
前日午後5時から本日午後5時までの放射線量の測定値は，0.037～0.038  $\mu$ Sv/h であり，異常なし。
- ・定時降下物（ちり，ほこり，雨など）の分析（ヨウ素131，セシウム137）  
前日午前9時から本日午前9時までの降下物 検出されず。
- ・上水（蛇口水）の分析（ヨウ素131，セシウム137）  
前日採取した上水 検出されず。

#### ■県ホームページ

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011031500153/>

## 2. 明日の主な動き

### (1) 人的支援

- ・被災地支援（医療・保健）チーム 第9陣，現地連絡員（26名）  
午前8時（保健師チームは午前10時）からの壮行式の後，宮城県に向け出発。

①保健師チーム	6名	②医療救護チーム	13名
③災害支援ナース	2名	④心のケアチーム	4名
⑤現地連絡員	1名		

- ・被災地支援（介護支援）チーム 第2陣（3名）  
在宅で介護を必要とする世帯の介護・生活援助，相談支援活動を行うため，午前8時からの壮行式の後，宮城県に向け出発。

### (2) 会議・説明会等

- ・第2回災害ボランティア研修会

午後1時30分から，県立防災センターにて，災害ボランティアに必要な知識や留意点，心構え等の知識を身につけていただくための研修会を開催。

## 3. 被災地からの避難者受入状況（平成23年4月8日現在）

宮城県	12名	(+ 3名)
福島県	14名	
茨城県	3名	
栃木県	3名	(+ 3名)
千葉県	6名	(+ 6名)
東京都	3名	(+ 3名)
神奈川県	10名	(+ 6名)

---

合計	51名	(+ 21名)
----	-----	---------

(参考)

1 支援連絡要員の派遣

派遣内容		派遣先	備考
支援連絡要員	4名	宮城県	現地支援本部員
総合土木等技術職	<u>0</u> 名	宮城県	被災地支援復興チーム (先遣隊)

2 支援人員の派遣

(1) 避難所での医療救護, 健康対策

派遣内容		派遣先	備考
保健師	4名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)
事務職	2名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)

(2) 心のケア

派遣内容		派遣先	備考
医師	1名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)
看護師	1名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)
精神保健福祉士	1名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)
事務職	1名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)

(3) 救護所等の医療支援

派遣内容		派遣先	備考
医師 (救護所)	3名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)
看護師 (救護所)	5名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)
薬剤師 (救護所)	2名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)
事務職 (救護所)	2名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)

(4) 介護支援

派遣内容		派遣先	備考
介護支援専門員	1名	宮城県	介護支援チーム (第1班)
介護福祉士	1名	宮城県	介護支援チーム (第1班)
事務職	1名	宮城県	介護支援チーム (第1班)

(5) 宮城県北部沿岸市町支援本部

派遣内容		派遣先	備考
事務職等	21名	宮城県	被災地応援派遣チーム (第3班)

(6) 教育対策

派遣内容		派遣先	備考
教諭等	5名	宮城県	学校再開支援チーム (第1班)
事務職	3名	宮城県	教育分野支援物資輸送班

※1～4までについては、前日からの変更箇所の下線を記入しています。

< 4月9日分 >

○ 東日本大震災に係る宮城県北部沿岸市町支援本部 派遣職員（第3陣）の帰県について

宮城県北部沿岸市町（気仙沼市・南三陸町・石巻市・女川町）で支援活動を行っていた県職員21名が、次のとおり帰県しますので、お知らせいたします。

- 1 日 時：平成23年4月10日（日）10時頃（予定）  
※道路事情などにより、到着時間が前後する可能性があります
- 2 場 所：県庁正面玄関前
- 3 出迎者：飯泉知事、危機管理部長ほか関係部局職員等  
※派遣職員（第3陣）を乗せたバスが、県庁玄関前に到着した際に、バス降り口にて、飯泉知事ほか関係部局職員が迎え、労をねぎらいます
- 4 宮城県北部沿岸市町支援本部派遣職員（第3陣）メンバー  
別紙のとおり  
第1班（4名） 気仙沼市（大島）において支援活動を実施  
第2班（8名） 南三陸町において支援活動を実施  
第3班（3名） 石巻市において支援活動を実施  
第4班（6名） 女川町において支援活動を実施

派遣職員名簿(第3陣) ※は兼りーダー

班	部局	所属	職	氏名	フリガナ	職種	
1 嵐 仙 沼	企画総務部 (監警局・出納局・人委・監査 ・課金・企業局含む)	秘書課	主任	武田 康孝	タケダ ヤスタカ	行政事務	
			課長補佐	清井 浩明 ※	キヨイ ヒロアキ	行政事務	
		県民環境部・商工労働部 (労委含む)	男女参画青少年課	主任主事	吉田 裕史	ヨシダ ユウジ	行政事務
			新産業戦略課	主任主事	豊崎 真史	トヨサキ マサシ	行政事務
	2 南 三 陸	企画総務部(監警局等含む)	法務文書課	主任主事	元木 晃	モトキ アキラ	行政事務
			検査指導課	係長	川人 久範	カワヒト ヒサノリ	行政事務
		農林水産部	東部農林水産局(徳島)	主任	原田 正剛	ハラダ マサタカ	農業
			農林水産総合技術支援センター技術支援部	主任班長	小牧 和仁 ※	コマキ カズヒト	農業
		県土整備部(収用含む)	道路政策課	主事	廣瀬 幸佑	ヒロセ コウスケ	行政事務
			高規格道路課	主任主事	真野 智也	サダノ チツヤ	総合土木
3 石 巻	南部総合県民局	南部総合県民局企画課(美波)	主任主事	和佐 敬倫	ワサ ヒロミチ	行政事務	
		南部総合県民局農林水産部(阿南)	係長	安宅 隆和	アタギ マサカズ	農業	
	県土整備部(収用含む)	用地対策課	主任専門員	久保 浩 ※	クボ ヒロシ	行政事務	
		西部総合県民局保健福祉環境部(美馬)	課長補佐	小西 善久	コニシ トシヒサ	薬剤師	
	4 女 川	県民環境部	西部総合県民局保健福祉環境部(三好)	課長補佐	福田 博成	フクダ ヒロシゲ	行政事務
			財政課	主任主事	原田 大	ハラダ ダイ	農業土木
県民環境部	環境整備課	主任	赤井 義樹	アカイ ヨシキ	土木		
		主査兼係長	阿部 敏亮	アベ トシアキ	獣医師		
	農林水産部	東部農林水産局(吉野川)	主任	清水 正明	シミズ マサアキ	農業	
		県土整備部	主任主事	藤川 和也	フジカワ カズヤ	土木	
港湾空港課	港湾空港課	主任主事	岡本 浩希	オカモト ヒロキ	行政事務		

## ○ 東日本大震災に関する徳島県の被災地支援の状況について

### 1. 本日の主な動き

#### (1) 人的支援

- ・宮城県北部沿岸市町支援本部派遣職員

##### 第3陣（21名）

1班（4名） 気仙沼市にて支援活動に従事。

2班（8名） 南三陸町にて支援活動に従事。

3班（3名） 石巻市にて支援活動に従事。

4班（6名） 女川町にて支援活動に従事。

##### 第4陣（30名 県・市町村各15名）

1班（8名） 気仙沼市にて支援活動に従事。

2班（8名） 南三陸町にて支援活動に従事。

3班（6名） 石巻市にて支援活動に従事。

4班（8名） 女川町にて支援活動に従事。

- ・学校再開支援チーム 第1陣（5名）

女川町にて学校再開の支援活動に従事。

- ・被災地支援（医療・保健）チーム

##### 第8陣

##### 保健師チーム（6名）

仙台市若林区内避難所等（遠見塚小学校、家庭訪問）にて支援活動に従事。

##### 医療救護チーム（10名）

石巻市立万石浦中学校にて支援活動に従事。

##### 災害支援ナース（2名）

石巻市遊楽館にて支援活動に従事。

##### 心のケアチーム（4名）

仙台市若林区内避難所等（遠見塚小学校、南小泉中学校 他3カ所）にて支援活動に従事。

## 第9陣（現地連絡員含む26名）

午前8時（保健師チームは午前10時）からの壮行式の後、宮城県に向け出発。

①保健師チーム	6名	②医療救護チーム	13名
③災害支援ナース	2名	④心のケアチーム	4名
⑤現地連絡員	1名		

### ・被災地支援（介護支援）チーム

在宅で介護を必要とする世帯の介護・生活援助、相談等の支援。

第1陣（3名） 南三陸町にて支援活動に従事。

第2陣（3名） 午前8時からの壮行式の後、宮城県に向け出発。

### ・徳島県歯科医師会 歯科医療チーム（5名）

石巻市立万石浦中学校にて支援活動に従事。

### ・徳島県災害ボランティア先遣隊（20名）

午前8時30分、気仙沼市大島に到着の後、救援物資の仕分け及び炊き出しの支援活動に従事。

## (2) 会議・説明会等

### ・第2回災害ボランティア研修会

午後1時30分から、県立防災センターにて、災害ボランティアに必要な知識や留意点、心構え等の知識を身につけていただくための研修会を開催し、73名が参加。

## (3) 環境放射能の調査結果

### ・空気中の放射線量の測定

前日午後5時から本日午後5時までの放射線量の測定値は、0.037～0.040  $\mu$ Sv/h であり、異常なし。

### ・定時降下物（ちり、ほこり、雨など）の分析（ヨウ素131、セシウム137）

前日午前9時から本日午前9時までの降下物 検出されず。

### ・上水（蛇口水）の分析（ヨウ素131、セシウム137）

前日採取した上水 検出されず。

## ■県ホームページ

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011031500153/>

## 2. 明日の主な動き

### (1) 人的支援

#### ・学校再開支援チーム 第2陣（5名）

学校再開を支援するため、午前6時からの壮行式（知事出席予定）の後、宮城県

に向け出発。

- ・宮城県北部沿岸市町支援本部派遣職員 第3陣（21名）  
現地における支援業務を終え，午前10時頃，帰県予定。（知事出席予定）
- ・被災地支援（医療・保健）チーム 第8陣（現地連絡員含め23名）  
現地における支援業務を終え，午後5時頃，帰県予定。

### 3. 被災地からの避難者受入状況（平成23年4月9日現在）

宮城県	12名
福島県	14名
茨城県	3名
栃木県	3名
千葉県	6名
東京都	3名
神奈川県	10名

---

合計 51名

(参考)

1 支援連絡要員の派遣

派遣内容		派遣先	備考
支援連絡要員	4名	宮城県	現地支援本部員

2 支援人員の派遣

(1) 避難所での医療救護，健康対策

派遣内容		派遣先	備考
保健師	4名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）
事務職	2名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）

(2) 心のケア

派遣内容		派遣先	備考
医師	1名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）
看護師	1名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）
精神保健福祉士	1名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）
事務職	1名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）

(3) 救護所等の医療支援

派遣内容		派遣先	備考
医師（救護所）	3名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）
看護師（救護所）	5名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）
薬剤師（救護所）	2名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）
事務職（救護所）	2名	宮城県	被災地支援チーム（第8班）
歯科医師	<u>3名</u>	<u>宮城県</u>	<u>県歯科医師会・歯科医療チーム</u>
歯科衛生士	<u>2名</u>	<u>宮城県</u>	<u>県歯科医師会・歯科医療チーム</u>

(4) 介護支援

派遣内容		派遣先	備考
介護支援専門員	1名	宮城県	介護支援チーム（第1班）
介護福祉士	1名	宮城県	介護支援チーム（第1班）
事務職	1名	宮城県	介護支援チーム（第1班）

(5) 宮城県北部沿岸市町支援本部

派遣内容		派遣先	備考
事務職等	21名	宮城県	被災地応援派遣チーム（第3班）
事務職等	<u>30名</u>	<u>宮城県</u>	<u>被災地応援派遣チーム（第4班）</u>

(6) 教育対策

派遣内容		派遣先	備考
教諭等	5名	宮城県	学校再開支援チーム（第1班）
事務職	<u>0名</u>	<u>宮城県</u>	教育分野支援物資輸送班

(7) その他

派遣内容		派遣先	備考
ボランティア等	<u>22名</u>	<u>宮城県</u>	<u>災害ボランティア（先遣隊）</u>

※1～2（7）までについては，前日からの変更箇所の下線を記入しています。

< 4月10日分 >

○ 東日本大震災に関する徳島県の被災地支援の状況について

1. 本日の主な動き

(1) 人的支援

- ・宮城県北部沿岸市町支援本部派遣職員

第3陣（21名）

現地における支援業務を終え、午前10時、帰県。（知事出席）

第4陣（30名 県・市町村各15名）

1班（8名） 気仙沼市にて支援活動に従事。

2班（8名） 南三陸町にて支援活動に従事。

3班（6名） 石巻市にて支援活動に従事。

4班（8名） 女川町にて支援活動に従事。

- ・学校再開支援チーム

第1陣（5名）

女川町にて学校再開の支援活動に従事。

第2陣（5名）

午前6時からの壮行式（知事出席）の後、宮城県に向け出発。

- ・被災地支援（医療・保健）チーム

第8陣（現地連絡員含め23名）

現地における支援業務を終え、午後5時20分、帰県。

第9陣（25名）

保健師チーム（6名）

仙台市若林区（3名）及び気仙沼市（3名）にて支援活動に従事。

医療救護チーム（13名）

石巻市立万石浦中学校にて支援活動に従事。

災害支援ナース（2名）

石巻市遊楽館にて支援活動に従事。

心のケアチーム（4名）

仙台市若林区内避難所等（遠見塚小学校、南小泉中学校 他2カ所）にて支援活動に従事。

- ・被災地支援（介護支援）チーム  
在宅で介護を必要とする世帯の介護・生活援助，相談等の支援。  
第1陣（3名） 現地における支援業務を終え，午後5時20分，帰県。  
第2陣（3名） 南三陸町にて支援活動に従事。
- ・日本赤十字社徳島県支部（医療救護班）第7班（8名）  
午前9時30分に宮城県に向け出発。
- ・徳島県歯科医師会 歯科医療チーム（5名）  
石巻市立万石浦中学校にて支援活動に従事。
- ・徳島県災害ボランティア先遣隊（20名）  
気仙沼市大島にて救援物資の運搬・仕分け，炊き出し，がれき処理の支援活動に従事。

## （2）環境放射能の調査結果

- ・空気中の放射線量の測定  
前日午後5時から本日午後5時までの放射線量の測定値は，0.037～0.039  $\mu$ Sv/h であり，異常なし。
- ・定時降下物（ちり，ほこり，雨など）の分析（ヨウ素131，セシウム137）  
前日午前9時から本日午前9時までの降下物 検出されず。
- ・上水（蛇口水）の分析（ヨウ素131，セシウム137）  
前日採取した上水 検出されず。

### ■県ホームページ

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011031500153/>

## 2. 明日の主な動き

### （1）人的支援

- ・学校再開支援チーム 第1陣（5名）  
現地における支援業務を終え，午後5時頃，帰県予定。

## 3. 被災地からの避難者受入状況（平成23年4月10日現在）

宮城県	12名
福島県	14名
茨城県	3名
栃木県	3名
千葉県	6名
東京都	3名
神奈川県	10名

---

合計 51名

(参考)

1 支援連絡要員の派遣

派遣内容		派遣先	備考
支援連絡要員	4名	宮城県	現地支援本部員

2 支援人員の派遣

(1) 避難所での医療救護，健康対策

派遣内容		派遣先	備考
保健師	4名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)
事務職	2名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)

(2) 心のケア

派遣内容		派遣先	備考
医師	1名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)
看護師	1名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)
心理士	1名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)
精神保健福祉士	0名	宮城県	被災地支援チーム (第8班)
事務職	1名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)

(3) 救護所等の医療支援

派遣内容		派遣先	備考
医師 (救護所)	4名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)
看護師 (救護所)	5名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)
薬剤師 (救護所)	2名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)
理学療法士 (救護所)	2名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)
事務職 (救護所)	2名	宮城県	被災地支援チーム (第9班)
歯科医師	3名	宮城県	県歯科医師会・歯科医療チーム
歯科衛生士	2名	宮城県	県歯科医師会・歯科医療チーム

(4) 介護支援

派遣内容		派遣先	備考
介護支援専門員	1名	宮城県	介護支援チーム (第2班)
介護福祉士	1名	宮城県	介護支援チーム (第2班)
事務職	1名	宮城県	介護支援チーム (第2班)

(5) 宮城県北部沿岸市町支援本部

派遣内容		派遣先	備考
事務職等	0名	宮城県	被災地応援派遣チーム (第3班)
事務職等	30名	宮城県	被災地応援派遣チーム (第4班)

(6) 教育対策

派遣内容		派遣先	備考
教諭等	5名	宮城県	学校再開支援チーム (第1班)

(7) その他

派遣内容		派遣先	備考
ボランティア等	22名	宮城県	災害ボランティア (先遣隊)

※1～2 (7) までについては，前日からの変更箇所の下線を記入しています。

## 【関西広域連合（鳥取県）】

< 4月8日分 >

資 料 提 供	
平成23年4月8日	
担当課 (担当者)	鳥取県防災局 防災課（松本）
電話	0857-26-7584

### ○ 島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物の輸送計画について

島根原子力発電所の低レベル放射性廃棄物輸送計画が公表され、5月13日（金）に青森県六ヶ所村の日本原燃（株）低レベル放射性廃棄物埋設センターに向けて、低レベル放射性廃棄物が船舶により輸送される予定であるとのお知らせが、同社鳥取支社からありました。

本件問い合わせ先

中国電力株式会社 鳥取支社 広報担当

電話0857-36-7006

平成 23 年 4 月 8 日  
中国電力株式会社

島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物の輸送計画について  
(平成 23 年 5 月)

当社は、島根原子力発電所周辺地域住民の安全確保等に関する協定に基づき、島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物の輸送計画について、島根県および松江市へ連絡しましたので、お知らせいたします。

添付資料 島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物輸送計画

以上

資料提供	
平成23年4月8日	
担当課 (担当者)	鳥取県防災局 防災課(松本)
電話	0857-26-7584

○ 島根原子力発電所敷地境界周辺及び敷地内での放射性物質の検出について

中国電力株式会社の島根原子力発電所では、敷地内の環境モニタリングを強化しており、本日、ヨウ素131の他、初めてセシウム134、137を検出したと、同社鳥取支社から情報提供がありました。

なお、島根原子力発電所に起因したものではなく、確認された放射性物質により受ける放射線量はごく微量であり、健康に影響を与えるものではないとしています。

本件問い合わせ先

中国電力株式会社 鳥取支社 広報担当

電話0857-36-7006

## (ホームページによるお知らせ)

平成23年4月8日  
中国電力株式会社

### 島根原子力発電所敷地境界周辺および敷地内での放射性物質の検出について

当社は、東京電力 福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、島根原子力発電所敷地内の環境モニタリングを強化しております。

本日、ごく微量の放射性物質（ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137）を検出しましたのでお知らせします。

なお、セシウム 134、セシウム 137 は、このたび初めての検出となります。

#### [検出された放射性物質の濃度]

採取地点	放射性物質	放射性物質の濃度	試料採取期間
発電所敷地境界周辺（大気中） モニタリングポスト（NO.3）付近	ヨウ素 131	0.0095 [ベクレル <sup>※1</sup> /m <sup>3</sup> ]	平成23年4月4日 16時05分 ～平成23年4月7日 16時04分
	セシウム 134	0.0018 [ベクレル/m <sup>3</sup> ]	
	セシウム 137	0.0017 [ベクレル/m <sup>3</sup> ]	
発電所敷地内 水盤 <sup>※2</sup> （降下物）	ヨウ素 131	2.5 [ベクレル/m <sup>3</sup> ]	平成23年4月4日 9時30分 ～平成23年4月7日 10時10分

島根原子力発電所は、現在、1号機が第29回定期検査中、2号機が定格熱出力一定運転中ですが、原子炉水中のヨウ素濃度や排ガスモニタ等の燃料健全性に係わる値に有意な変化は見られません。また、1、2号機建物等からの排気を連続して測定している放射線モニタにも有意な変化が見られないことから、今回確認された放射性物質（ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137）は、島根原子力発電所に起因したものではありません。

なお、今回確認された放射性物質により受ける放射線量はごく微量であり、健康に影響を与えるものではありません。

※1 ベクレル …放射能の量を表す単位

※2 水盤 …雨や塵などの降下物に含まれる放射性物質を調べるために設置した器状の設備

資料提供	
平成23年4月8日	
担当課 (担当者)	鳥取県防災局 防災課(松本)
電話	0857-26-7584

○ 島根原子力発電所 原子炉施設保安規定の変更認可申請について

中国電力は、島根原子力発電所における原子炉施設の保安活動を定めた原子炉施設保安規定を変更するため、本日、経済産業大臣に認可申請を行いました。

これは、平成23年3月30日に交付・施行された「実用発電用原子炉の設置運転等に関する規則」の改正に伴うもので、今後、国による審査を受ける予定であり、同社鳥取支社から情報提供がありましたのでお知らせします。

本件問い合わせ先

中国電力株式会社 鳥取支社 広報担当

電話0857-36-7006

本資料は、広島の中電記者クラブ、島根県政記者クラブでも配布しております。



鳥取県にも報告します

## 報道資料

平成23年4月8日  
中国電力株式会社

### 島根原子力発電所 原子炉施設保安規定の変更認可申請について

当社は、島根原子力発電所における原子炉施設の保安活動を定めた原子炉施設保安規定<sup>※1</sup>を変更するため、本日、経済産業大臣に認可申請を行いました。

これは、平成23年3月30日に公布、施行された「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」<sup>※2</sup>の改正に伴うものであり、今後、申請内容について、国による審査を受けてまいります。

#### 〔保安規定の変更内容（概要）〕

次の内容について、新たに記載しました。

- ・ 電源機能等喪失時<sup>※3</sup>における原子炉施設の保全のための活動を行う体制の整備として、必要な要員の配置、訓練ならびに可搬式発電機、可搬式ポンプ、ホース他必要な資機材の配備に関する計画を策定すること。
- ・ 前項の計画に基づき、電源機能等喪失時における原子炉施設の保全のための活動を実施するとともに、定期的に評価を行い、必要な措置を講じること。

当社は、引き続き、皆さまに安心していただける発電所を目指し、安全最優先の運営にあたってまいります。

※1 「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に定められており、原子力発電所の運転の際に実施すべき事項などを記載している。事業者が定めて申請を行い、国の審査を経て認可を受けるもの。

※2 「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」のうち、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規定に基づき定められた規則（経済産業省令）。

※3 津波によって交流電源を供給するすべての設備、海水を使用して原子炉施設を冷却するすべての設備および使用済燃料プールを冷却するすべての設備の機能が喪失した場合を想定。

以上

お問い合わせ先 鳥取支社広報担当マネージャー 笠見  
TEL 0857-36-7006

資 料 提 供	
平成23年4月8日	
担当課 (担当者)	鳥取県防災局 防災課 (大森)
電話	0857-26-7584

## ○ 島根原子力発電所における放射性物質の検出

中国電力株式会社の島根原子力発電所では、発電所の各建物から排気される空気に含まれる放射性物質の濃度を定期的に測定していますが、平成23年4月1日から4月7日までのサンプルを測定した結果、ごく微量の放射性物質（ヨウ素131）を検出したことについて、同社鳥取支社から情報提供がありましたのでお知らせします。

本件問い合わせ先

中国電力株式会社 鳥取支社 広報担当  
電話0857-36-7006

(ホームページによるお知らせ)

## 島根原子力発電所における放射性物質の検出について

平成23年4月8日  
中国電力株式会社

島根原子力発電所では、発電所の各建物から排気される空気に含まれる放射性物質の濃度を定期的に測定していますが、平成23年4月1日から4月7日までのサンプルを測定した結果、ごく微量の放射性物質（ヨウ素131）を検出しましたのでお知らせします。

島根原子力発電所は、現在、1号機が第29回定期検査中、2号機が定格熱出力一定運転中ですが、原子炉水中のヨウ素濃度や排ガスモニタ等の燃料健全性に係わる値に有意な変化は見られないことから、今回確認された放射性物質（ヨウ素131）は、島根原子力発電所に起因したものではありません。

なお、今回確認された放射性物質により受ける放射線量はごく微量であり、健康に影響を与えるものではありません。

### 〔検出された放射性物質の濃度〕

採取場所	放射性物質	放射性物質の濃度 (ベクレル <sup>※1</sup> /m <sup>3</sup> )	試料採取期間
1号機排気筒 <sup>※2</sup>	ヨウ素131	0.0051	平成23年4月1日 ～平成23年4月7日
1号機タービン建物排気筒		0.0061	
2号機排気筒		0.0060	
サイトバンカ <sup>※3</sup> 建物排気筒		0.0037	

※1 ベクレル …放射能の量を表す単位

※2 排気筒 …各建物内の空調に伴う排気や気体廃棄物処理系の排ガスを外部に放出するための施設

※3 サイトバンカ …使用済のチャンネルボックスや制御棒等の放射性固体廃棄物を貯蔵・保管するための設備

資料提供	
平成23年4月8日	
担当課 (担当)	企画課 (西村)
電話	0857-26-7131

○ 原子力発電等に関する緊急申し入れ（続報）

標題については、別紙のとおり4月7日に資料提供したところですが、当日申し入れる事項が確定しましたのでお知らせします。（詳細別添のとおり）

○ 申し入れ事項

I 原子力発電所の一層の安全確保対策について

- (1) 原子力発電所等の安全の確保について
- (2) 監視体制の強化および情報提供の徹底について
- (3) 情報伝達体制の徹底について

II 原子力災害対策のための体制整備について

- (1) 原子力災害対策にかかる法律等の見直しについて
- (2) 情報の提供について
- (3) 連携の強化について

III 自然エネルギー導入への積極的な取組について

## 別紙

資料提供	
平成23年4月7日	
担当課 (担当)	企画課 (西村)
電話	0857-26-7131

### 原子力発電等に関する緊急申し入れ

この度の東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故により、住民生活や周辺環境に重大な被害が発生しており、原子力発電所の一層の安全確保や自然エネルギー導入への積極的な取組等について、関西広域連合が構成府県に關係する電力会社に対し「原子力発電等に関する緊急申し入れ」を行うこととなりました。

中国電力株式会社については、関西広域連合の構成員として鳥取県が申し入れを行いますのでお知らせします。

- 日時  
4月8日（金） 午後4時30分から5時まで
- 場所  
中国電力株式会社 本社 （広島県広島市中区小町4-33）
- 申し入れ者（鳥取県）  
城平守朗（じょうひら もりあき）防災監  
高橋謙司（たかはし けんじ）企画部長
- 相手側（中国電力株式会社）  
白髭修一（しらひげ しゅういち）常務取締役  
古林行雄（ふるばやし ゆきお）部長  
岩室良（いわむろ まこと）鳥取支社長
- 内容
  - 申し入れ  
東京電力福島第一原子力発電所で発生した原子力災害を踏まえ、住民が信頼できる原子力災害対策をはじめ、中長期的な自然エネルギー供給への対応について、取り組みを推進されるよう申し入れを行います。
  - 意見交換  
鳥取県としては、特にEPZ（防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲）の拡大、関係隣接県の広範囲化など、原子力災害対策に係る法律の改正等所用の措置を講ずるよう国に強く働きかけていただくことについて意見交換することとしています。
- その他
  - 取材希望の方は、中国電力広報・環境部門報道担当 [Tel. 082-544-2846](tel:082-544-2846)へ事前にご連絡ください。
  - 当日の取材に当たっては、中国電力本社1階の受付に関西広域連合の緊急申し入れに対する取材であることをお伝えください。
  - 取材にあたっては、御社腕章の着用など、プレス関係者であることを明示してください。
  - 緊急申し入れ文は、当日の配布とさせていただきます。

## 原子力発電等に関する緊急申し入れ

平成23年4月8日

関西広域連合

## 原子力発電等に関する緊急申し入れ

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震は、東北地方を中心に甚大かつ深刻な被害を与え、戦後最大の災害となっています。

関西広域連合では、被災地における一日も早い復旧・復興を心から願い、16 年前の阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、構成府県が一丸となって、被災地への支援に全力で取り組んでいるところです。

こうした中、東京電力福島第一原子力発電所で発生した原子力災害においては、現場の懸命の努力にも関わらず、放射性物質が放出され、住民の被ばく、農作物の汚染など、周辺環境に重大な被害を与えています。

関西は、2,000 万人を超える人々の生活が営まれ、琵琶湖を始めとした水源、全国へ出荷する農作物の生産地、日本のものづくりを支える産業や都市機能、歴史的遺産としての豊かな自然・文化のもとに、生活が営まれています。特に、立地地域における影響や今後の地域の発展を考えると、万が一への備えが不可欠であります。

貴社におかれても、「災害に強い関西」として、住民が信頼できる原子力災害対策をはじめ、中長期的な自然エネルギー供給への対応についても、積極果敢な取組を推進されるよう申し入れます。

平成 23 年 4 月 8 日

### 関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸 敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂 吉伸
委員	滋賀県知事	嘉田 由紀子
委員	京都府知事	山田 啓二
委員	大阪府知事	橋下 徹
委員	鳥取県知事	平井 伸治
委員	徳島県知事	飯泉 嘉門

## 申し入れ事項

### I 原子力発電所の一層の安全確保対策について

#### (1) 原子力発電所等の安全の確保について

今回の重大な原子力発電所の事故を受け、原子力発電所の安全性に対する住民の不安が高まっていることから、「止める」「冷やす」「閉じこめる」機能について「想定外の事態」とならないよう、地震および津波等に対する安全性向上に万全の対策を構じられたい。

特に、原子炉冷却のための電源対策や電源以外の冷却手段の確保対策を行うこと。

#### (2) 監視体制の強化および情報提供の徹底について

今回、福島第一原発から30km以内の地域では避難等が指示されたことに鑑み、現在は8~10kmとされているEPZの範囲を越える地域に対しても、モニタリングポストの設置等放射線および放射性物質のより一層の監視体制強化を図ると共に、原子力発電や放射性物質等に関する正しい情報を提供し、住民が適切な判断に基づき行動できるよう、努められたい。

#### (3) 情報伝達体制の徹底について

福島での原子力事故では東京電力からの情報伝達について遅れが生じ、住民に混乱が生じた。原子力発電所で、万一事故が発生した場合には、原子力事業者から国、関係府県、関係市町等への連絡体制が構築されているが、今回のようなことがないよう情報伝達体制を再点検し、万全を期されたい。

### II 原子力災害対策のための体制整備について

今回の事故により放射性物質が外部に放出され、現在のEPZの圏外である、半径20キロ圏内の住民に避難指示を、半径30キロ圏内の住民に自主避難の措置がとられたことから、これまでの原子力災害対策を抜本的に見直しするため、体制の整備について以下の協力を要請する。

#### (1) 原子力災害対策にかかる法律等の見直しについて

EPZの範囲の見直しなどの防災指針の改訂や、原子力発電所の立地から対策に至るまでの一貫した対応、関係隣接県の取扱いの広範囲

化などといった、原子力災害対策にかかる法律の改正等、所要の措置を講ずるよう国に強く働きかけられたい。

また、今回の事故ではオフサイトセンターが十分に機能していないため、その検証を国とともに十分行うこと。

**(2) 情報の提供について**

地域防災計画の見直しを検討するため、原子力施設の安全対策、監視体制にかかる情報を積極的に提供願いたい。

**(3) 連携の強化について**

原子力事業者と関係府県が連携して、原子力災害対策に取り組むことができるよう、立地県だけでなく、近隣府県とも定期的な協議の場を設けるなど連携の強化を図られたい。

**Ⅲ 自然エネルギー導入への積極的な取組について**

関西広域連合では、環境問題を関西全体で捉え、地球温暖化対策に取り組んでおり、省エネ推進はもとより電気自動車の普及促進など化石燃料に代わるエネルギー源への転換を進めている。そうした中、環境負荷が少なく、地域に広く存在する太陽光などの自然エネルギーの導入は不可欠である。

貴社におかれても、こうした自然エネルギーの利用にかかる研究開発を加速的に進め、積極的導入を図るよう取組を進められたい。